

JAERI-M

7230

複雑な生成壊変鎖列中の核種存在量算出用
プログラム: CODAC-No.4 入力手引

1977年8月

武 田 常 夫

日本原子力研究所
Japan Atomic Energy Research Institute

この報告書は、日本原子力研究所が JAERI-M レポートとして、不定期に刊行している研究報告書です。入手、複製などのお問合せは、日本原子力研究所技術情報部（茨城県那珂郡東海村）あて、お申しこしください。

JAERI-M reports, issued irregularly, describe the results of research works carried out in JAERI. Inquiries about the availability of reports and their reproduction should be addressed to Division of Technical Information, Japan Atomic Energy Research Institute, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken, Japan.

複雑な生成壊変鎖列中の核種存在量算出用

プログラム：CODAC-No.4入力手引

日本原子力研究所・東海研究所・安全工学部

武田常夫

(1977年7月29日受理)

CODAC-No.4 プログラムは、核分裂生成物などの複雑な生成壊変 chain 中の各核種の存在量を与えた照射履歴にそって算出するためのプログラムである。任意の複雑な chain および任意の照射履歴を入力できる。そして、核データの入力法は、極めて簡便であり容易である。核データとしては、単純な decay のみならず partial decay constant・branching decay・activation および fission などのデータを入力することができる。また、FP-release や FP-transport などの式を組込むことができるようになっており、その例について述べた。本報では、いくつかの例をあげて入力データ作成の方法を具体的にかつ平易に記述した。また、出力例・プログラムリストも合せて記載した。この CODAC-No.4 プログラムは既報の CODAC-No.1 プログラムに改良を加えて新たに作成したものであり、CODAC-No.1 プログラムに比べて一層使い易くなったと考える。

User's Guide for CODAC-No.4:

A computer program to calculate nuclide yields
in complex decay and activation chain

Tsuneo TAKEDA

Division of Reactor Safety, Tokai
Research Establishment, JAERI

(Received July 29, 1977)

This report is prepared as a user's input manual for a computer code CODAC-No.4 and provides a general description of the code and instructions for its use. The code is described in detail and by the use of various examples. The code represents a version of the CODAC-No.1 code. The code developed is capable of calculating radioactive nuclide yields in an any given complex decay and activation chain in accordance with a given irradiation history. Input method and formats used for this code are very simple for any kinds of nuclear data (for example, decay, partial decay, branching decay, activation and fission). List of FORTRAN statements, list of input parameters and definitions and examples of input data and output are given in this report. In addition to previous examples, details of input data prepared for concrete complex chain involved in fission and activation are also given.

The code is also capable of following fission product transport and release phenomena accompanying general nuclear reaction. Details of input data prepared for these concrete cases and modifications of subprogram for user's definitions are also described.

Keywords: Decay Chain, Complex Decay Chain, Fission Product,
Fission Product Transport, Fission Product Release,
Computer Code, 1st Order Reaction, Activation Analysis,
Calculation of Radioactivity.

目 次

1. はじめに	1
2. 計算方法	3
3. 入力方法	5
4. 入力データ作成例(1)	13
5. 入力データ作成例(2)	16
6. おわりに	19
謝 詞	19
文 献	20

1. はじめに

軽水炉の安全性に関する諸研究の中に、核分裂生成物(FP)に関連する多くの研究がある。これらの研究では、FPの生成量を予測しておくと大変便利であることが多い。また、FPのdecay chainの持つ性質あるいはchainの及ぼす効果(先行核種の影響など)について予めわかっていると大変便利である。また、実験データを解析する段階では、FPの生成量を計算で求めておきこの値と実験値を比較対応させながら検討を進めなければならないことが多い。さらに、FPのreleaseやtransportを伴った現象を解析する場合には、これらのモデルを容易に組込み計算できるプログラム(コード)があると大変都合がよい。このことは、モデルが十分に確定しない前の試行錯誤の段階ではなおさらのことである。しかし、多くの親核種およびFPなどからなる複雑なdecay chainを考慮に入れながらFPの生成量(存在量)を算出するには、大変煩雑な作業が必要である。そして、数多くのFP核種についてかつ様々な照射履歴について生成量を算出することは、一層煩雑な作業を必要とする。これらの煩雑な作業を行った上で、はじめてdecay chainの持つ性質や先行核種の影響などを具体的に理解できるようになると考えられる。

このようなことから、Batemanの式の繰返し処理を使わずにかつ式を単純化することなく複雑なchainを解析的に簡単明瞭な表現で解くこと、核分裂や放射化などの種々の核反応を取り扱えること、そして種々の放射性核種の移動(transport)・放出(release)挙動をあらわすこと、組み込むことを前提として、簡便な入力書式を持つ放射性核種の生成量算出コードを作成した。作成されたこれらのコードが、CODACシリーズのコードである。名称CODACは、Complex decay and activation chainから略して付けた名前である。

現在、このCODACシリーズコードには、- $\text{\alpha}3$ ・- $\text{\alpha}4$ ・- $\text{\alpha}5$ および- $\text{\alpha}6$ の4種のコードがあり、大別すると次の2種に分けられる。第1は、与えられた任意の個々の照射ヒストリーに応じて生成量を算出するCODAC- $\text{\alpha}3$ および- $\text{\alpha}4$ コードである。第2は、各種の照射時間および冷却時間の組合せについて生成量を求め、照射および冷却時間の両時間軸に対しても生成量を等高線図(生成量マップ)にまとめるコードであり、CODAC- $\text{\alpha}5$ および- $\text{\alpha}6$ (1)(2)(3)がそれである。CODAC- $\text{\alpha}6$ を除いたCODAC- $\text{\alpha}3$ ・- $\text{\alpha}4$ および- $\text{\alpha}5$ の3種のコードは、FPのみならずactivationやfissionを含んだ任意の複雑なchainを入力することができる。

本報で述べるコードは、これらCODACシリーズのコードのうちCODAC- $\text{\alpha}4$ コードである。このコードは、与えられた任意の照射ヒストリーに対応して生成量を求めるコードである。このコードは、既報のCODAC- $\text{\alpha}1$ ⁽⁴⁾任意の複雑なchainを入力することができる。この $\text{\alpha}4$ コードは、既報のCODAC- $\text{\alpha}1$ コードに改良を加え新たに作成したコードであり、本質的な解析手法は $\text{\alpha}1$ コードのそれと同じである。改良点の具体的な内容については2章以降で言及する。以下に、コードのプログラムリストの全文・入力データ例・出力例について記載する。特に、入力手続については、具体的なchainの例を用いて詳細に述べることにする。また、前述したtransportやrelease

の取扱いについても、具体的な例をあげて記述する。以下、これらの事柄について順次報告する。

なお、入力手続に関する説明を簡明にするためにそして説明に用いる図表相互の関連を容易に判断できるようにするために、いくつかの省略記号を用いることにしそれらをTable 1に示す。また、各図中 アンダーラインを付した個所には、本来具体的な数値または変数名などをそれぞれ入力 format およびFORTRAN文法に従って記入すべき個所を示している。そして、それらの具体的な数値および変数名を実際に記入するカード上のカラム位置も、それぞれ入力 format およびFORTRAN文法に従わなくてはならない。

2. 計算方法

複雑な decay chain は一般に次に示す式(1)であらわすことができる。

$$\frac{dn_i(t)}{dt} = \sum_j^{j \neq i} \lambda_j n_j(t) b_{ij} - \lambda_i n_i(t) \quad (1)$$

ただし、 λ_i は核種 i の壊変定数、 $n_i(t)$ は核種 i の時刻 t における原子数、 b_{ij} は核種 i から j への branching ratio である。この式(1)を解くと、次に示す 3 式が導かれる。

$$n_i(t) = \sum_j^i C_{ij} \exp(-\lambda_j t) \quad (2)$$

$$C_{ij} = \frac{1}{\lambda_i - \lambda_j} \sum_m^{m \neq i} C_{mj} \lambda_m b_{mi} \quad (i \neq j) \quad (3)$$

$$C_{ij} = n_{io} - \sum_m^{m \neq i} C_{im} \quad (i = j) \quad (4)$$

ただし、 C_{ij} は係数であり、換言すると核種 i の核種 j の壊変定数 λ_j に依存する項の係数であることを示している。式(3)および(4)の係数 C_{ij} の値は、マトリクス法などによって決めることが也可能であるが、また親核種から娘核種へ向って順に逐次的な方法によって求めていくことができる。式(1)から式(2)～(4)の誘導および C_{ij} の値の求め方については、既報の CODAC-16.1 コードに詳しく述べられている。このようにして求められた係数 C_{ij} の値を式(2)に代入することによって、ただちに核種 i の原子数 $n_i(t)$ を算出することができる。この解析解の求め方は、表現を変えると（例えば、原子数を分子数またはモル数、そして壊変定数を反応速度定数に書き換えると）、連続 1 次不可逆の化学反応を解く場合にそのまま用いることができる。

このようにして求めた解析解は、複数個の独立した複雑な chain が混在するような場合を想定したときにも、そのまま厳密に成立する。ここで用いた λ_i と b_{ij} については、核分裂や放射化などの核反応を考慮に入れて再評価した値を用いることができる。すなわち、式(3)～(4)に核反応などを含めて処理することができ、同時に解析解もそのまま成立する。この解析的な手法を用いて、複雑な生成壊変 chain 中の各核種生成量（存在量）を求めるコードが、CODAC シリーズのコードである。

CODAC シリーズのコードでは、入力データカードの作成を簡便に行えるようにするために、各核種に通し番号を付けるようになっている。そして、この通し番号をもとにして、どの核種からどの核種へといった表現ではなく何番の核種から何番の核種へといった表現で壊変や核反応の核データを入力する型式をとっている。前述の係数 C_{ij} の値は、逐次的な方法によって求めるとすると、壊変や核反応の向きに従って順序よく解いていかなくてはならない。すなわち、

連続した反応の流れの上流から下流へ（親核種から娘核種へ）向って解かなくてはならない。CODAC- α 1 コード⁽⁴⁾では、各核種につける通し番号は、反応の向きすなわち親核種から娘核種へ順に付けなければならないという制約を設けた。すなわち、 α 1 コードでは、解析解を求めるための手順は各核種に付けた通し番号と一致していた。しかし、入力データを作成する場合に、前述の連続反応の流れの順序を考慮に入れながらデータを作成するのでは少なからず手間がかかる。そこで、反応の順序を考慮せずに各核種に任意に通し番号を付けることができると、入力データを作成する場合に大変便利である。本 CODAC- α 4 コードでは、これらのこと考慮して、任意に通し番号を付けられるようにした。任意に付けた通し番号にもとづいて核データを入力し、それらの核データにもとづいてコード内部で連続反応の向きを判断する。この判断結果にもとづいて、演算順序を決定し逐次的な方法によって解析解を順次求めて行く。そのため前述したように入力データ作成の段階で、反応の順序を考慮せずに各核種に任意に通し番号を付けることができる。

また、逐次的方法によって解析解を求める方法の場合は、マトリクス法などによって解析解を求める場合に比べて計算手順（または計算回数）は必要最低限度に留まり解析解自体の持つ計算誤差も小さくなる特徴がある。さらに、これらの方法によって求めた解析解によって各核種の生成量（存在量）を求めるため、求められた生成量の計算誤差の蓄積も最小限に留まる。そして、手計算で解析解を求める場合にも 逐次的な手法はそのまま共通して用いることができ、手計算で求めた式と本 CODAC- α 4 で求めた式との照合などのときにも大変便利である。1 章で述べた生成量マップを作成するコード CODAC- α 5 および- α 6 についても、これらの点を考慮して同じ方針をとっている。

3. 入力方法

1章で述べたような目的にそって、そして2章で述べたような方法によって作成されたコードが、CODAC-164コードでありFORTRANリストの全文をFig.1に示す。このFORTRANリストにもとづいて作成した入力のためのフローチャートをFig.2に示す。また、このデータ入力で使用するformatのリストをTable 2に示す。Table 3に入力変数とその定義を示す。Fig.1のFORTRANリストからわかるように、データの入力はすべて subroutine ANDREAのみで行なわれる。

さらに、作成した入力データ例と、そのときの出力例をそれぞれFig.3およびFig.4に示す。作成された164コードは、約45K word程度であり source cardで約1400枚である。Fig.3に示した入力データ(5データセット)で実行時間は数秒(FACOM 230-75使用)であった。これ以後の入力手続に関する説明を簡明なものにするために、ここで入力形態および出力形態について分類すると共に言及することにする。まず、入力形態については、次のような種類がある。

(1) 核データの入力形態について

- (1-1) 標準型式のデータを入力する。
- (1-2) ライブラリーのデータを使用し、入力は行わない。
- (1-3) 直前のデータセットのデータを使用し、入力を行わない。また、ライブラリーも使用しない。

(2) 照射ヒストリーデータ入力形態について

- (2-1) 標準型式のデータを入力する。
- (2-2) 60進表記のデータを入力する。
- (2-3) 直前のデータセットのデータを使用し、入力を行わない。

次に出力の種類および形態については、次のようなものがある。

(1) 数値結果出力

- (1-1) 核種生成量(存在量)について
- (1-1-1) キューリー(Ci)単位で出力する。
- (1-1-2) 壊変率で出力する。
- (1-1-3) 原子数で出力する。
- (1-2) 照射ヒストリーの時間軸について
- (1-2-1) 標準型式で出力する。(時分秒などのうち、いずれか単一の単位系を用いる)
- (1-2-2) 60進表記で出力する。(時分秒などの複合単位系を用いる。)

- (2) グラフ出力
- (3) 解析解にもとづいた数式の出力
- (4) 前項目(1)・(2)および(3)について
 - (4-1) 全タイムステップについて出力する。
 - (4-2) 最後のタイムステップのみ出力する。

概略は、以上のような事柄である。そして、さらに入力カードは一般に次に示す5種がある。

- (1) コントロール・カード
入出力条件および解析条件を指示するパラメータを含むカード。
- (2) タイトル・カード
タイトルを与えるカード。
- (3) 核データ・カード(1)
核種名・原子数初期値などを定義するカード。
- (4) 核データ・カード(2)
項目(3)を除いた種々の核データ（半減期・反応断面積など）を与えるカード。
 - (4-1) 中性子束に依存しない核データ。
 - (4-2) 中性子束に依存する核データ。
 - (4-3) ユーザーの定義による。一般には使用しない。
- (5) 照射ヒストリーを与えるカード

また、これらの各データの入力に必要なformatは、Table 3に示すように7種類であり極めて単純である。

これらの入力形態・出力形態および入力カード分類ならびにFig.1のFORTRANリストおよびTable 2・3の入力手続にしたがって、Fig.3およびFig.4の入出力例について概略を説明すると次のようになる。

（入力データについて）

0-01 1セット目のデータカード。

核データとしてデータライブラリー中の値を使用し、照射ヒストリーは標準型式で入力。

0-02 2セット目のデータカード。

核データは1セット目のデータを使用し、照射ヒストリーは標準型式で入力。出力は最後のタイムステップのみとする。

0-03 3セット目のデータカード。

核データとしてデータライブラリー中の値を使用する。照射ヒストリーは2セット目のデータを用いる。

0-04 4セット目のデータカード。

核データおよび照射ヒストリー共に標準型式で入力。

0 - 0 5 5 セット目のデータカード。

4 セット目と同様に、核データおよび照射ヒストリー共に標準型式で入力。

0 - 0 0 データカードセットの終了を示すブランクカード。

(出力について)

1 - 0 0 1 - 0 0 から A - 0 8 までの項目は、1 セット目入力データに関する出力。これらのうち 1 - 0 0 から 1 - 0 9 までの項目は入力データに関するリストであり、A - 0 1 から A - 0 8 までの項目はこれらの入力データに対する計算結果の出力である。項目 1 - 0 0 は、1 セット目データに与えたタイトル。

1 - 0 1 核データとしてライブラリー 1 を使用したことを示す。ライブラリーを使用しない場合には、この行は出力されない。

1 - 0 2 chain の員数、出力全般に共通して用いる時間の単位など。

1 - 0 3 各核種につけた通し番号、核種名および初期値（原子数）。

1 - 0 4 1 - 0 4 から 1 - 0 6 までの項目は、入力した核データのリストである。ただし、この場合はライブラリーから組込んだ核データのリストである。項目 1 - 0 4 は、中性子束に依存しない核データのリスト。decay constant の単位は、項目 1 - 0 2 の指定から hour である。branching ratio の単位は、%ではなく比率である。

1 - 0 5 中性子束に依存する核データのリスト。

cross section の単位は、barn である。fission yield の単位は、%ではなく比率である。

1 - 0 6 項目 1 - 0 4 および 1 - 0 5 で入力された核データからコード内部で安定核種と判断された核種のリスト。項目 1 - 0 3 からこの 1 - 0 6 までのリストから入力した chain の scheme を作成することができる。

1 - 0 7 次の項目 1 - 0 8 の中性子束の単位。

1 - 0 8 入力された照射ヒストリーデータのリスト。time step 番号、中性子束など。

1 - 0 9 入力された核データからコード内部で判断して、どの核種とも chain を構成しない核種の通し番号を示し、警告を発している。計算処理は継続される。この項目を確認することによって、核データの入力カードにおおむね問題のなかったことがわかる。もし、入力を忘れた核データがあり、chain が切れどの核種とも chain を構成しない核種が生じると、この項目で拾い出されるからである。

A - 0 1 この A - 0 1 から A - 0 7 までの項目は、time step 1 に関する計算結果の出力。項目 A - 0 1 は、数値結果の出力。左端の縦の列の数値は 時刻であり、単位は項目 1 - 0 2 から hour である。そして、その右側に各時刻における各核種の生成量（存在量）の値が原子数単位で出力されている。

A - 0 2 項目 A - 0 1 の続き。項目 A - 0 1 と同様に、左端の列の数値は時刻である。最終行の MIN および MAX は、それぞれ A - 0 1 および A - 0 2 を通じての最小

値および最大値(原子数)である。

- A - 0 3 項目A - 0 1 およびA - 0 2 の計算結果をグラフとしてまとめたものである。グラフのスケールは logarithmic scale であり、左端が下限であり右端が上限である。そして、グラフ下限および上限値は、それぞれ1行目のM I N および MAXで示されている。左端の列の数値は、A - 0 1 と同様に時刻である。そして、プロットは核種の通し番号を示しており、* 0 1 は*印がプロットされた位置であり核種は通し番号 0 1 すなわちU - 2 3 5 であることを示している。
- A - 0 4 項目A - 0 1 の出力を、キューリー-(Ci) 単位でまとめなおして出力したものである。表の見方はA - 0 1 のそれと同じである。
- A - 0 5 項目A - 0 4 の続き。
キューリー-(Ci) 単位でまとめた結果(A - 0 4 およびA - 0 5)についてのグラフの出力は、コード内部で判断した結果図形的にあまり意味のあるグラフは作成できないとの結論に達したため省略されている。
- A - 0 6 time step 1 の間で、極大値を取る核種についてのリスト。極大となる時刻(T)・そのときの極大値(原子数単位(NI) およびキューリー-(Ci) 単位(AC))。
- A - 0 7 time step 1 の間で使用した解析解にもとづいた式のリスト。TIMEには、項目1 - 0 2 で示される単位(この場合はhour)でこのtime step のはじめからの経過時間を代入すると、手計算で生成量(存在量)を求めることができる。
- A - 0 8 time step 2 の出力。この例では、time step 1 は照射、time step 2 は冷却期間である。
- 2 - 0 0 2 - 0 0 から2 - 0 5までの項目は、2セット目入力データに関する出力。これらのうち2 - 0 0 から2 - 0 4までの項目は入力データに関するリストであり、項目2 - 0 5はこれらの入力データに対する計算結果の出力である。項目2 - 0 0 は、2セット目のデータに与えたタイトルなどである。データライブラリーを使用していないため、library index は出力されない。
- 2 - 0 1 核データは1セット目のデータをそのまま使用するため、入力は省略されたことを示す。
- 2 - 0 2 入力された照射ヒストリーデータのリスト。
- 2 - 0 3 項目1 - 0 9 と同じ。どの核種とも chain を構成しない核種をさがしだし、警告をしている。
- 2 - 0 4 入力データの指示により time step 1 に関する出力を省略したことを示す。
- 2 - 0 5 time step 2 に関する計算結果の出力。この場合、最終 time step 2 についてのみ、入力データからの指示により出力されている。グラフおよび式の出力は、入力パラメータの指示により出力されない。
- 3 - 0 0 3 - 0 0 から3 - 0 7までの項目は、3セット目入力データに関する出力。これらのうち、3 - 0 0 から3 - 0 6までの項目は入力データに関するリストであり、項目0 7はこれらの入力データに対する計算結果の出力である。項目3 - 0 0 は、3セット目のデータに与えたタイトル・使用したライブラリー番号などである。

- 3 - 0 1 核種名・原子数初期値など。
- 3 - 0 2 入力した核データのリストであり、この場合はライブラリーから組込んだ核データのリストである。
- 3 - 0 3 入力された照射ヒストリーデータのリスト。
- 3 - 0 4 項目 3 - 0 3 で示される照射ヒストリーデータは、この3セット目のデータセットで入力されたものではなく（すなわち、入力が省略された）、2セット目のデータセットで与えられたものであることを示している。
- 3 - 0 5 入力された核データからコード内部で判断した結果、どの核種とも chain を構成しない核種があったので、それらの事柄を示し警告している。計算処理は継続される。
- 3 - 0 6 照射ヒストリーデータは2セット目で与えたデータをそのまま用いているため、項目 2 - 0 4 と同様に、time step 1 に関する出力を省略したことを示す。
- 3 - 0 7 time step 2 に関する計算結果の出力。
- 4 - 0 0 4 - 0 0 から 4 - 0 9 までの項目は、4セット目入力データに関する出力。これらのうち、4 - 0 0 から 4 - 0 3 までの項目は入力データに関するリストであり、4 - 0 4 から 4 - 0 9 までの項目はこれら入力データに対する計算結果の出力である。項目 4 - 0 0 は、4セット目のデータで与えられたタイトルなどである。この4セット目のデータは、核データの入力および照射ヒストリーデータの入力は標準型式で入力される。
- 4 - 0 1 核種名・原子数初期値など。
- 4 - 0 2 入力した核データ（この例は、金の放射化分析の例である）。
- 4 - 0 3 入力された照射ヒストリーデータのリスト。
- 4 - 0 4 この 4 - 0 4 から 4 - 0 8 までの項目は、time step 1 に関する計算結果の出力。項目 A - 0 4 は、数値結果の出力であり単位は原子数でまとめられている。この表の見方は、項目 A - 0 1 と同じである。
- 4 - 0 5 項目 A - 0 4 の数則計算結果をグラフにまとめたものである。このグラフの見方は、項目 A - 0 3 と同じである。単位は原子数。
- 4 - 0 6 time step 1 に関する計算結果の出力である。項目 4 - 0 4 の数値結果を、キューリー (Ci) 単位でまとめなおしたものである。
- 4 - 0 7 time step 1 の出力の続き。このコードでは、1 ページ分づつ編集していくため、2 ページ以上にわたる場合は分割して出力される。
- 4 - 0 8 time step 1 の間で使用した解析解にもとづいた式のリスト。見方は、項目 A - 0 7 と同じである。
- 4 - 0 9 time step 2 に関する計算結果の出力。
- 5 - 0 0 5 - 0 0 から 5 - 0 9 までの項目は、5セット目入力データに関する出力。これらのうち、5 - 0 0 から 5 - 0 3 までの項目は入力データに関するリストであり、5 - 0 4 から 5 - 0 9 までの項目はこれらの入力データに対する計算結果の出力である。項目 5 - 0 0 は、5セット目のデータで与えられたタイトルなどである。こ

の5セット目のデータは、4セット目のデータと同様に核データの入力および照射ヒストリーデータの入力は共に標準型式で入力される。

- 5-01 核種名・原子数初期値など。
- 5-02 入力した核データ（この例は、I-1 3 5 の壊変にともなう各核種の生成壊変）。
- 5-03 入力された照射ヒストリーデータのリスト。この例では、冷却 (time step 1) だけである。
- 5-04 数値計算結果の出力であり、単位は原子数である。
- 5-05 項目5-04の数値計算結果をグラフにまとめたものであり、単位は同じく原子数である。
- 5-06 項目5-04の数値結果を、キューリー (Ci) 単位でまとめなおしたものである。
- 5-07 項目5-06の数値計算結果をグラフにまとめたものであり、単位は項目5-06と同じくキューリー (Ci) である。
- 5-08 time step 1 の間で、極大値をとる核種についてのリスト。見方については、項目A-06と同じである。
- 5-09 time step 1 の間で使用した解析解にもとづいた式のリスト。見方については、項目A-07と同じである。
- 9-00 入力したデータ全セットについて、処理が終了したことを示す。

それでは、前出したような入力手続にしたがって、いろいろの入力形態のデータを入力するとしたら、どのようなカード構成 (card deck) となるであろうか。まず、入力データカードデック全体について Fig.5 に示す。各一連の作業 1 単位ごとにカードをまとめ、さらにそれらのデータセットをいくつかまとめ一括して処理 (run) することができる。最後のデータセットの終りに計算コードを正常に終了させるために、数枚のブランクカードを挿入しておく。1つの run の中には、各データセットをいくつでも納めることができ、入力データの終了を示すブランクカードに出合うまで計算処理が継続される。

では、各々のデータセットの中は、どのようなカードから構成されるであろうか。標準型式の入力の場合を、Fig.6 に示す例にそって述べる。ここでいう標準型式とは、先に述べた入力カードの種類全部 (5種) がそろって入力されることであり、核データ入力および照射ヒストリーカードに入力する場合である。コントロールカード・タイトルカード・核データカード(1)・(2)・照射ヒストリーカードの順である。核データカード(1)では、核種名・原子数初期値および各核種につけた通し番号が定義されるから、C#01 カードで指定したMAX枚のC#03-A カードが必要である。核データカード(2)については、次項で詳しく述べることにする。照射ヒストリーカードについては、C#07 カードで指定した MAXQ 枚の C#08 または 09 カードが必要である。これで 1 セット分の入力カードはすべてである。ところで、核データカード(2)のカードデックは、どうなるであろうか。それらのカードは、3種のグループといつかのサブグループとから構成される。第 1 番目のグループは、C#04-1 カードで指定された LMAX 組のサブグループから成る。各々のサブグループは、C#05-1 で指定された JMAX 枚の C#06-1 カードと C#05-1 カードから成る。そして、この第 1 のグループで中性子束に依存しない

核データが入力される。すなわち、半減期・分岐比などである。第2のグループのカード構成は、第1のグループのそれと同じである。ただし、入力する核データは、中性子束に依存する核データであり反応断面積・核分裂収率などである。第3のグループは、ユーザーが定義したデータを入力するためのグループであり一般に使用しない。そのため、C#04-3のLMAX=0と等価のブランクカードを1枚だけ用意すればよい。この第3のグループのデータ入力の活用については、5章で言及する。それでは、LMAXまたはJMAXの値によってそれぞれグループおよびサブグループ内のカード構成はどのようになるであろうか。例をFig.8に示す。グループについては、 $LMAX > 0$ がC#04-1または-2で与えられた場合はLMAX組のサブグループがそのカードC#04-1または-2の後に続く。しかし、 $LMAX = 0$ のときには、そのカードC#04-1または-2のみ1枚でありサブグループを構成するC#05-1または-2・C#06-1または-2は不要である。先に述べたC#04-3カードと等価のブランクカード1枚は、この場合に相当する。サブグループについても同じ様なことが言える。JMAX>0のときは、C#05-1または-2カード1枚とそれに続くJMAX枚のC#06-1または-2カードからサブグループが構成される。しかし、JMAX=0のときはC#05-1または-2カード1枚のみでサブグループが構成される。なお、安定核種については、核データカード(2)を用いて半減期無限大または壊変定数ゼロを特に入力する必要はない。

核データをあらかじめライブラリーとして組込んでおき、それらのデータを使用するときのカードデックをFig.9に示す。核データライブラリーの作成法については、4章で述べる。核データをライブラリーからさがし出し使用するため、核データ入力カード(2)は不要となる。また、核データカード(1)の核種名も、ライブラリー内で定義されているから不要である。しかし、核データカード(1)の入力変数のうち原子数初期値は与えなくてはならない。そのため、カード構成は次のようなになる。コントロールカード(ただし $MAX < 0$)・タイトルカード・核データカード(1)・照射ヒストリーデータカードの順である。任意の核種に任意の原子数初期値を与える場合、核データカード(1)はC#03-B1(ただし $LMAX > 0$)およびLMAX枚のC#03-B2カードから構成される。しかし、Table 3に示した省略法によって原子数初期値を与える場合は、C#03-B1カードのみから構成される。

同じ照射ヒストリーを用いて複数個のデータセットを処理する場合のカードデックをFig.10に示す。同じ照射ヒストリーで処理しようとするデータセットのうち、最初のデータセットでFig.6またはFig.9のカードデックを用いて照射ヒストリーデータをあらかじめ与えておけば、2セット目のデータセットからは照射ヒストリーデータの入力は不要である。そのときのカード構成は次のようなである。核データを入力する場合、コントロールカード(ただし $MAX > 0$, IUNO=-1)・タイトルカード・核データカード(1)・(2)である。あらかじめ用意された核データライブラリーを使用するときは、コントロールカード(ただし $MAX < 0$, IUNQ=-1)・タイトルカード・核データカード(1)である。この2つの場合、それぞれFig.2およびFig.9のカードデックから照射ヒストリーデータカードを除いたときと同じである。そして3セット目以後同様にして照射ヒストリーデータの入力を省略して同じヒストリーで処理を続けることができる。

同じ核データを異った照射ヒストリーデータで処理する場合のカードデックをFig.11に示

す。同じ核データを処理しようとするデータセットのうち、最初のデータセットで Fig.6・9 または Fig.10 のカードデックを用いて核データをあらかじめ与えておけば、2 セット目のデータセットからは核データの入力は不要である。2 セット目以降のデータセットでは、コントロールカード（ただし $IUNQ=-2$ ）・タイトルカード・照射ヒストリーカードのみを準備すればよい。そして、必要ならば、3 セット以後も 2 セット目と同様にして同じ核データを異った照射ヒストリーデータで処理していくことができる。

それでは、最後に、あらかじめライブラリーに用意されているいくつかの核データを用いて同じ照射ヒストリーデータで処理する場のカードデックを Fig.12 に示す。1 セット目のデータセットで照射ヒストリーデータを与えておく。この 1 セット目のカードデックは、Fig.9 のそれと同じである。そして、2 セット目以降のデータセットからは、コントロールカードで $IUNQ=-1$ を指定することによって照射ヒストリーデータの入力を省略することができる。もし他のデータセットがないとすれば、最後のデータセットの終りにデータセットが終了したことを示す数枚のブランクカードを用意する。

これら各々のカードデックを計算目的にそってどのような順序でいくつでも組合せることができる。これまで述べてきたカードデックを参考にして、Fig.3 の入力データ例を見てみるとする。1 番目のデータセットは、Fig.9 で示したように核データをライブラリーから呼び出す型式である。2 番目は、Fig.11 に示したように 1 番目で使用した核データを異った照射ヒストリーで処理する場合である。3 番目は、Fig.12 に示したように 2 番目と同じ照射ヒストリーで異ったライブラリー内核データを処理する場合である。4 番目および 5 番目の核データは、Fig.6 に示した標準型式で入力する場合である。

4. 入力データ作成例(1)

この章では、核データのみを処理する一般的な場合について、さらに詳しく入力データの作成方法を考えることにする。FP-transportやFP-releaseを取り扱う場合については、5章にゆずることにする。そして、一般的な核データの処理について具体的にデータを作成してみることにする。なお、入力データ例は標準入力型式についてのみ記述することにする。

まず、初めに、核分裂を含む場合について考えてみることにする。schemeの例をFig.13に示す。燃料元素4核種・核分裂生成物(FP)8核種の合計12核種から構成されるchainである。これらのうち、核分裂生成核種FGは中性子を吸収して核種FHとなる。また4燃料元素のうち核種AAおよびDDが核分裂を起し、核種DDが壊変していく先についてはここで取扱う必要がないものとしてみた。このchainについて、具体的に入力データを作成した例をFig.18に示す。同図中、変数名にアンダーラインを付した個所は、本来具体的な数値を記入すべき個所を示している。そして、記入すべきカラム位置については、Table 2のformatのリストと対応させなくてはならない。1行目は、コントロールカード(ただしMAX=12)である。すなわち、12核種から成るchainを解くことを指示している。2行目は、タイトルカードである。3行目から14行目は、核データカード(1)である。この例では原子数初期値は、3行目で1番核種AAについてのみ与えられている。15行目から58行目までは、核データカード(2)である。そして、これらのうち15行目から32行目までが中性子束に依存しない核データの入力であり、33行目から57行目までが中性子束に依存する核データである。58行目は、ユーザー定義の入力データの無いことを示すdummy用のブランクカードである。この4章で述べる核データ処理の場合は、この部分に関しては常にdummy用ブランクカード1枚のみである。59行目から64行目のカードは、照射ヒストリーデータカードである。59行目のMAXQ=5の指示により、全タイムステップについて計算結果が出力される。もし、ここで最後のタイムステップについてのみ計算結果の出力が必要な場合は、59行目でMAXQを-5とすればよい。

それでは、次に放射化分析などによくみられる場合のschemeをFig.14に示す。target核種が、核種XX・KKおよびMMの3核種である。そして、全体で独立した2chainが含まれている。核種総数は生成核種を含めて12核種であり、そのうち7核種が安定核種である。このchainについて、具体的に入力データを作成した例をFig.14に示す。まず、1行目は、コントロールカードであり、12核種から成るchainを解くことを指示している。2行目は、タイトルカードである。3行目から14行目は、核データカード(1)であり、ここで核種名および原子数初期値が定義される。この例では、target核種は3核種であるから、それら3核種についてのみ原子数初期値が与えられている。15行目から41行目のカードは、核データカード(2)である。これらのカードのうち、15行目から27行目のカードは中性子束に依存しない核データの入力であり、28行目から40行目までは中性子束に依存する核データの入力である。

ある。42行目から44行目のカードは、照射ヒストリーデータカードである。もし、照射ヒストリーを60進表記で入力したい場合は、42行目から44行目のカードをCS#02のカード群で置換え、同時に1行目コントロールカードでIY=1を指示する。

次に、decay chain の持つ性質または先行核種の娘核種における効果について調べる場合について考えてみることにする。decay chain の例をFig.15に示す。6核種から成立するchain である。今、かりに、核種LCからLDへのbranching ratio が核種LJからLEへのそれに比べてかなり少ないと考えられるとする。そして、場合によっては、Fig.16に示すscheme のように核種LCからLDへのbranching を無視してみることを考えたい場合である。核種LD・LEおよびLFの生成壊変の様子がFig.15および16の両schemeにおいてどのように異なるか調べることによってわかる。Fig.15および16に対して、それぞれFig.20および21に示す入力データカード群を作成し、両出力の着目する核種についての生成壊変の様子を検討すればよい。また、場合によってはC#01のコントロールカードでIEを用いて解析解を出力し式の上で各項の係数の値を検討することもできる。Fig.20および21の入力データカード例において、核種LDからLEへのbranching を考えるか否かによってそれぞれ*印を付した行のデータが異ってくる。このことは、場合によっては、Fig.20の入力データを処理した後同カード群から*印を付したカードのみを新しいカードに差換えてFig.21のようなカード群に組換え再び計算処理をすることを意味する。また、他の方法として、1つのデータセット内にFig.17のscheme に示すように同時に2種のchain を想定して処理することもできる。Fig.17に示した2chain はそれぞれ前出のFig.15および16のchain と対応している。ただ、核種名は各chain ごとに区別できるように多少ちがえてある。このFig.17に示したscheme について、入力データカードを作成した例をFig.21に示す。1行目がコントロールカードであり、12核種を処理することを指示している。2行目は、タイトルカードである。3行目から14行目は、核データカード(1)である。15行目から44行目のカードが、核データカード(2)である。これらのカードのうち、15行目から42行目までのカードが中性子束に依存しない核データの入力である。さらにこれらのうち、1番目から5番目までのサブグループが第1番目のchain に関するデータであり、6番目から10番目のサブグループが第2のchain に関するデータである。43行目は、このchain に関し中性子束に依存する核データのないことを示している。45・46行目は、照射ヒストリーデータカードである。・

以上述べてきたように、入力データカードを作成するには、まず生成壊変のscheme を作成し次に各核種に任意に通し番号を付け核データを準備していく。このような手順で入力データを作成していくと、手ぎわ良くカードを作成して行くことができると言っている。また、次に述べる核データライブラリー作成の場合についても、同じような手順を経てカードイメージのデータをあらかじめ作成しておくと、後の作業に大変便利である。それでは、核データをライブラリーに納めるにはどのようにすればよいであろうか。Fig.13で示したchain について、作成した入力データFig.18をもとに、ライブラリーを作成してみることにする。核データライブラリーは、使用頻度の多い核データをプログラム内に組込みデータカードとして読み込まれるようにするために作成されている。Fig.1のFORTRANリスト中 17ページの

block data ANGELAにデータ文として最大 50 種類までの chain を組込み用意することができる。Fig.13で示した chain について作成したデータライブラリーの例をFig.23に示す。そして、Fig.18で作成した入力カード例との対応を各行右端に行番号で示す。1行目は、chain の長さで入力データ MAX に j の値が対応する。k の値はライブラリー・インデックスであり、先にも述べたように k の値は 1 から 50 までの任意の値をとることができる。101 行目から 199 行目のデータ文は Fig.18 の 3 行目から 14 行目までに対応しており、ここで核種名だけを定義する。このデータライブラリーでは、原子数初期値をデータ文で与えることを考慮に入れてない。通し番号の順に、1 核種名当たり 2 語を用いて与える。m は、j の値に等しく chain の長さと同じになる。201 行目から 298 行目のデータ文は、それぞれ Fig.18 の 15 行目から 58 行目までに対応している。アンダーラインを付した箇所は本来具体的な数値を記入すべき箇所を示している。そして 2 重線でアンダーラインを付した箇所は、Fig.18 で示した入力データカードにはない数値項目であり、201 行目で定義した変数の個数と型を調節するために挿入した dummy 用の定数であることを示している。299 行目は、ライブラリーデータがすべて終了していることを示す dummy 用の定数群であり、Fig.18 の例にはないがライブラリーには必ず用意しなければならない行である。n は、202 行目から 299 行目までで用いた定数群の数であり、換言すると Fig.18 で用いた核データカード(2)のカード枚数に 1 を加えた枚数である。この例では、n は 45 である。このようにして準備した核データライブラリーは、Fig.9 で示したカードデックを用い、コントロールカードのパラメーター MAX の値を -k ($MAX = -k$) と指定することによって、いつでも引用することができる。Fig.1 の subprogram ANGELA に用意したライブラリーは あくまでも一例であって、使用する人に便利な内容に書換えてさしつかえない。

5. 入力データ作成例(2)

この章では、前章までに述べてきた基本的な事項を基礎にして、FP-transport や FP-release などの特殊な事項を入力し処理する場合どのような入力カードを作成しかつプログラムをどう作成したらよいかについて言及することにする。本 CODAC-164 コードは、これら特殊な用途にも活用できるようするために、コード内部に配慮がなされている。そして、比較的簡単に transport や release の式を組むことができるようになっている。核データカード(2)の第3グループは、これらのために設けられている入力カード群である。これらの特徴をうまく活用することによって、核データ以外の物理定変数を含む式を試行錯誤的に組込みテストランを行うのに向いている。それでは、どのようにすればよいのであろうか。以下、 transport と release を例にとって述べる。

FP-transport の例を、Fig.24 の scheme に示す。 transport と release の本質的なちがいを区別することはなかなかむずかしい点がある。しかし、ここでは、核反応の結果生じた FP がいろいろの系の間を移動することを transport と考えることにしたい。そして、他方、核反応の後ではなく核反応の途中の段階でいくつかの系に反応生成物が移動分散する場合を release と考えたい。もちろん、どちらについても移動した後その各々の系で生成壊変することはある。一般的に、 transport は移動の方向は可逆的であり、 release は核反応と直接関連があるため移動の方向は可逆的でないと考えた方が便宜的であり実際的なようである。そして、一般に現象としてとらえる場合には、これら transport および release の両効果が複合した結果であって区別しがたい。どちらが重要な支配因子であるか、またはどちらを重視したいかによって使いわけされることも多いようである。しかし、ここでは先に述べた定義を用いることにし、まず Fig.24 の例で transport について言及することにする。燃料元素 1 核種とし、核分裂生成物 3 核種である。このうち核分裂生成物は、それぞれ 2 つの系に分けられる。(A) で生成した FP は、(B) に移動する。そして、(B) に移動した FP は、燃料元素 AA から直接生成することはない。(B) の FP は、さらに別の系に移動する。例えば、(A) および(B) としてはそれぞれ原子炉格納容器内部と外部であり、事故時に FP が移動するような場合などを考えればよいであろう。また、それぞれ欠損燃料の燃料ピン内部と外部などを考えててもよい。ある微少時間内において、(A) から(B) へそして(B) からその他の系へ移動する各核種の移動速度が一定であるとみなしてもさしつかえないときを考える。そして、これら FP の移動速度を最終的に壊変定数と同じ単位系に換算することができるとする。このような前提のもとに、Fig.24 の例について入力データを作成すると、Fig.26 に示すようになる。24 行目から 33 行目のデータカードは、核データカード(2)に属す第3グループの入力データである。この第3グループのデータは、第1のグループ(中性子束に依存しない核データ)および第2のグループ(中性子束に依存する核データ)と異なりユーザーが定義するデータである。核データと類似した表現で transport に関するデータを入力することができる。同時に、 subroutine BREND A 内に次のような FORTRAN ステートメントを準備しなくてはならない。その例を

Fig.27に示す。例えば、Fig.27の1行目から6行目までの文をFig.1のFORTRANリスト subroutine BREND A の407行目と408行目に挿入する。Fig.27の例でなければならないということはない。これと等価の内容をもつ文であれば、何でもよい。入力する chain の長さが変化しても処理できるように、むしろ等価の内容をもつ文で置換えた方が望ましい。さらに、引用する function なども同時に準備しなくてはならない。引用する function名およびその引数などFig.27中アンダーラインを付した個所は、FORTRANの文法にしたがって具体的な変数名や statement を用意しなくてはならない。そして、場合によつては、プログラムの他の部分についても statement の追加や変更をしなくてはならないこともあるであろう。先に述べたグループ3の入力データ（Fig.26の24行目から33行目）については、Fig.23の核データライブラリーの作成例を参考にしてライブラリー内に組込むことができる。

次に、FP-release の例をFig.25の scheme に示す。Fig.24の scheme と同様、燃料元素1核種・燃料元素3核種から成る。このFP3核種は、各々2つの系に存在しており、核種としては同一のものであるが区別できるように核種名の1部をちがえてある。例えば、核種FYは、燃料元素AAから核分裂によって生成し同時に核種FXから壊変生成物としても生成する。そして壊変して核種FZになる。このことは、系(X)および(Y)の両系について同じである。しかし、系(Y)のFYは、系(X)を生成する核分裂の1部が系(Y)に生成したと考えられる。核種AAから核種FY0とFY1との合計の収率が、いわゆる核種FYの核分裂収率である。そして、核種FX0からFY0が壊変して生成するとき、その1部が系(Y)の核種FY1となる。他の核種についても、同様である。このような例は、次のような場合を考えればよいであろう。UO₂ペレット内で核分裂が起りFPを生成する。そのとき、おそらく大半のFPはUO₂固相中（系(X)）に残り、他的一部は燃料ピン内気相中（系(Y)）に放出される。いわゆるギャップへの希ガスFPの放出などを考えるとよいであろう。また、アンプル中に封じ込んだ液体照射試料の気相部と液相部をそれぞれ系(X)および(Y)に対応させて考えてもよいであろう。transportの例と同様に、ある微少時間内において系(X)および(Y)への分岐の比率は一定であり、かつ分岐の様子を核データと等価に換算することが必要である。特に、この場合に、前出の分岐比率は容易にdecayのときのbranching ratioと等価の単位系になおすことができるので問題はない。このような前提のもとに、Fig.25の例について入力データを作成すると、Fig.28に示すようになる。この入力データカード例では、核データカード②の第3のグループでの入力は行わずコード内部で release された核種へのデータを作成することを考えている。もちろん、前出の第3グループの入力の型式を行ってもよい。次に、例えば、Fig.29の1行目から31行目までの文をFig.1のFORTRANリスト subroutine BREND A 内407行目と408行目の間に挿入する。前出のtransportの場合と同様に、入力する chain が変化しても対応して処理ができるようなFig.29と等価の内容を持つ文で置換えた方がむしろ望ましい。同時に、引用する function なども準備しなくてはならない。Fig.29中アンダーラインを付した個所は、FORTRANの文法にしたがって具体的な変数・引数名および statement を用意しなくてはならない個所を示している。そして、場合によつては、プログラムの他の部分についても statement の追加や変更をしなくてはならないこともあるであろう。この例では、function

f は、各核種の各生成壞変のプロセスごとに、*release* する割合を比率（%ではない）で算出する関数であると考えている。

なお、Fig.27 および 29 で用いた変数名のうち、Fig.1 の FORTRAN リスト中すでに定義済みの変数について、少々言及することにする。変数 DCX (I, n) は、通し番号 I の核種のもつ核データカード(2)第 n グループで入力された DCSQ を照射ヒストリーを考慮に入れて総合的に評価した値である。すなわち、n = 1 のときは 巨視的な意味での壞変定数であり、n = 2 のときは巨視的な意味での反応速度 ($\Sigma \phi_i \sigma_i$) であり、n = 3 のときはユーザーの定義による。変数 D (I, J) は、核種 I から J への変化が、前出の第何グループに属すかを示しており 1.0・2.0 および 3.0 の実数型で数値を与える。そして、変数 EBRC (J, I) は、核種 I から J への変化は前出の D (I, J) の値で定義されたグループに属す変化であるがそのときのそのグループ内での巨視的な分岐比率の値を示す。例えば、D (I, J) = 1.0 のときは EBRC (J, I) は 一般に branching ratio であることが多い。D (I, J) = 2.0 のときは一般に EBRC (J, I) は fission yield であることが多い。以上のような事柄である。

以上、FP - transport や FP - release など一般の核データとは異質な物理因子を含む現象の decay chain への組込みについて述べてきた。もちろん、前述の FP - transport などの他にさまざまな現象を組込むこともできるであろうと考えている。そして、具体的な式で表わされる現象を組込む例を引用すれば、先に述べた例を一層良く理解し易くできたのかも知れないと考えている。

FP - transport ならびに FP - release の両者を含む場合について、具体的に作成されたコードが CODAC-ARFP コード⁽⁵⁾である。照射中に UO₂ ペレット内で生成した FP が、燃料ピン内の自由空間（プレナムおよびギャップ部）に放出される。燃料ピン被覆に欠損孔（ピンホール）が存在するとそこから冷却水中に FP が放出される。これら冷却水中までの FP の放出・移動の様子を調べるコードが CODAC-ARFP コードであり、この章で述べた事柄の具体例である。

6. おわりに

本 CODAC- μ 4 コードは、まだ不十分なところが残っているとはいえ CODAC- μ 1 コードに比べて、一層使い易くなったと考えている。しかし、計算機の容量・使用時間などに制約のあるところでは、CODAC- μ 1 コードの方が便利であることもある。ここで、CODAC- μ 4 コードの特徴について、あらためてまとめてみることにする。

- (1) 核分裂や放射化など含む複雑な decay chain を簡便な入力型式で入力することができる。
- (2) 各核種名に任意に通し番号をつけられる。このことは、入力型式を簡明なものにすることにつながる。
- (3) 使用頻度の多い核データを容易にプログラム内ライブラリーとすることができます。
- (4) 解析解にもとづいて計算を進めるため、計算精度がよい。
- (5) (4)に関連して、解析解にもとづいた式が得られる。
- (6) 入力されたデータ中に計算処理は可能であっても、場合によって不適切なことがあるときには種々の警告を発するようになっている。
- (7) 各種の入出力形態が準備されている。
- (8) 一般の核データ以外の物理因子にもとづく現象を比較的簡単に組込むことができる。
- (9) 1 部同じデータを用いて繰返し処理する場合に便利なように配慮がなされている。

以上のような事柄である。

本コードの利用法については、各章で言及してきた。確定しない核データを検討する場合、そして 試行錯誤的に FP に関するモデルを検討する場合に有効であると考えている。入出力方法共に簡便であるし、またコード内に改訂を加えることも容易である。また、FP に限らず放射化分析などにも有効であると考えている。FP chain をどこまで簡略したら、取扱おうとしている現象およびモデルにさしつかえないかなどの事柄も、入力データの作成の仕方によって十分に検討できる。このように本コードの応用範囲は広いと考えられる。

謝　　辞

本稿をまとめるにあたって、種々のご意見ご配慮をいただいた安全工学第 2 研究室・平野見明氏ならびに同部燃料安全第 1 研究室・原山泰雄氏に深く謝意を表します。

6. おわりに

本 CODAC- μ 4 コードは、まだ不十分なところが残っているとはいえ CODAC- μ 1 コードに比べて、一層使い易くなったと考えている。しかし、計算機の容量・使用時間などに制約のあるところでは、CODAC- μ 1 コードの方が便利であることもある。ここで、CODAC- μ 4 コードの特徴について、あらためてまとめてみることにする。

- (1) 核分裂や放射化など含む複雑な decay chain を簡便な入力型式で入力することができる。
- (2) 各核種名に任意に通し番号をつけられる。このことは、入力型式を簡明なものにすることにつながる。
- (3) 使用頻度の多い核データを容易にプログラム内ライブラリーとすることができる。
- (4) 解析解にもとづいて計算を進めるため、計算精度がよい。
- (5) (4)に関連して、解析解にもとづいた式が得られる。
- (6) 入力されたデータ中に計算処理は可能であっても、場合によって不適切なことがあるときには種々の警告を発するようになっている。
- (7) 各種の入出力形態が準備されている。
- (8) 一般の核データ以外の物理因子にもとづく現象を比較的簡単に組込むことができる。
- (9) 1 部同じデータを用いて繰返し処理する場合に便利なように配慮がなされている。

以上のような事柄である。

本コードの利用法については、各章で言及してきた。確定しない核データを検討する場合、そして 試行錯誤的に FP に関するモデルを検討する場合に有効であると考えている。入出力方法共に簡便であるし、またコード内に改訂を加えることも容易である。また、FP に限らず放射化分析などにも有効であると考えている。FP chain をどこまで簡略したら、取扱おうとしている現象およびモデルにさしつかえないかなどの事柄も、入力データの作成の仕方によって十分に検討できる。このように本コードの応用範囲は広いと考えられる。

謝　　辞

本稿をまとめるにあたって、種々のご意見ご配慮をいただいた安全工学第 2 研究室・平野見明氏ならびに同部燃料安全第 1 研究室・原山泰雄氏に深く謝意を表します。

文 献

- 1) T.Takeda, "Map of Calculated Radioactivity of Fission Product (Vol.I)", JAERI-M 6937 (1977)
- 2) T.Takeda, "Map of Calculated Radioactivity of Fission Product (Vol.II)", JAERI-M 6938 (1977)
- 3) T.Takeda, "Map of Calculated Radioactivity of Fission Product (Vol.III)", JAERI-M 6939 (1977)
- 4) T.Takeda, "Calculation of the Radionuclide Yields in Complex Decay, Activation and Fission Chain in a Given Time (code CODAC)", JAERI-M 6148 (1975)
- 5) T.Takeda, "Calculation of the Additional FPs Release through a Defect Hole on the Cladding of a Fuel Rod (code CODAC-ARFP)", JAERI-M 6399 (1976)

Table 1 List of symbols and definitions for CODAC codes

	symbol	definition
(101)	##	CODAC-code number
(102)	R#	run number
(103)	S#	set number in run
(104)	B#	block number in set
(105)	G#	group number in block or set
(106)	SG#	subgroup number in group
(107)	CD#	input card deck number
(108)	IE#	input data example number
(109)	OE#	output example number
(110)	DS#	decay and activation scheme number
(111)	EQ#	equation number
(112)	F#	input format number in format list
(113)	A#	application example number
(114)	C#	card number in input parameter list
(115)	P#	procedure number in program list or flow chart
(116)	CS#	case number
(117)	RF#	reference number
(118)	ID#	identification index number
(119)	LB#	library index number in data library
(120)	SC#	section number in program list
(121)	L#	line number in program list or other example
(122)	M#	remark number

(201)	/CONT	control parameter
(202)	/TITL	title for each data set
(203)	/IAN	initial atom number for each nuclide
(204)	/NUCL	nuclear data (/NUC1 and /NUC2)
(205)	/NUC1	nuclear data (nuclide name, initial atom number and others)
(206)	/NUC2	nuclear data (half-life value, branching ratio, cross section, fission yield and others : /KIND1, /KIND2 and /KIND3)
(207)	/KIND1	nuclear data , independent of neutron flux (half-life, partial decay constant, branching ratio and others)
(208)	/KIND2	nuclear data , depending on neutron flux (activation cross section, fission cross section, independent fission yield and others)
(209)	/KIND3	data depending on user's definitions (for example, fission product release or transport)
(210)	/HIST	irradiation history data
(211)	/END	cards indicating end of data for execution (blank cards)
(212)	/NAME	nuclide name (i.e. U-235, I-133M or U, I)
(213)	/ATM	atomic number of nuclide
(214)	/MASS	mass number of nuclide
(215)	/GRAN	range of graph scale
(216)	/TRAN	range of time scale for output of map
(217)	/MAP	radioactivity change map (/SMAP, /PMAP and /FMAP)
(218)	/SMAP	radioactivity change map (standard output form)
(219)	/PMAP	relative radioactivity change map
(220)	/FMAP	set of radioactivity change map depending on neutron flux change
(221)	/FNAM	FORTRAN name
(222)	/TEST	test section
(223)	/USER	section for user's definition
(224)	/CHEK	section for check of executed parameter values
(225)	/DUMY	section for dummy statement

Table 2 List of input formats for CODAC-No.4 code

Input format list		
10	FORMAT (2I6,2E12.5,6I2,2E12.5,4I2) F#10
11	FORMAT (20A4) F#11
12	FORMAT (I4,2A4,E12.5,I4) F#12
13	FORMAT (2I6) F#13
14	FORMAT (I2,E12.5,2I2) F#14
15	FORMAT (2E12.5,I4,E12.5,10I2) F#15
16	FORMAT (I3,3(1X,I2),E12.5,I3,3(1X,I2)) F#16

Table 3 List of variables and definitions for CODAC-NO.4 code

Card number	FORTRAN name	Format number	Format	Column	Definition and comment
/CONT C # 0 1	MAX	F # 1 0	I 6	0 1 - 0 6	= 0 入力データセット終了を示す。一般にblank cardを用いる。(./END)
				> 0	核データを入力し、ライブラーのデータは使用しない。入力するchainの長さ(すなわち入力する核種の総数)は、MAXの値とする。
				< 0	核データはライブラーのデータを使用し、入力は行わない。使用するライブラーのインデックス番号は、符号を取除いたMAXの値とする。
				(MAX の最大値は、50である。すなわち、このコードでは1回の処理(1セット当たり)で最大50核種までをまとめて処理することができる。)	
I UNQ	I 6		0 7 - 1 2	≥ 0	特に単位を記述することなく人力および出力する値に共通して用いる時間の単位を与える。すなわち、このコード内部で行う処理は、このIUNQで指示された単位系に統一された後実行される。 = 1 時間の単位を sec とする。 = 2 時間の単位を min とする。 = 3 時間の単位を hour とする。 = 4 時間の単位を day とする。 = 5 時間の単位を year とする。 = 0 コード内で適当に判断する。
				< 0	直前のデータセットで与えたIUNQの値を採用する。 = -1 照射ヒストリーデータの人力を省略し、直前のデータセットで与えたヒストリーデータをそのまま再度用いる。核データの人力は省略しないから、入力しなくてはならない。
				= -2	核データの人力を省略し、直前のデータセットで与えた核データをそのまま再度用いる。照射ヒストリーデータの人力は省略しないから、人力しなくてはならない。
				(もし仮に、前のデータセットで1回も照射ヒストリーデータまたは核データが入力されていないときは、IUNQ = 0のときと同じ処理がなされるため、ヒストリーデータまたは核データの人力が必要となる。すなわち、1セット目の人データ中でIUNQ < 0なる用い方は禁じられている。)	

TFIN	E 1 2 . 5	1 3 - 2 4	> 0 . 0	後述する照射ヒストリーデータのうち、最後の time step で出力を必要とする時間の範囲。単位は、前出 I UNQ に従う。
TNOM	E 1 2 . 5	2 5 - 3 6	> 0 . 0	Normalization factor。出力結果のうち、activity 出力に無条件に乗される定数。 $C_i \rightarrow mC_i$ などの換算係数の値を与える。不用のときは 1.0 とする。TNOM $\leq 0 . 0$ のときは、コード内部で 1.0 とみなされる。
I C	I 2	3 7 - 3 8	後述する I Z と共に出力するときの各核種の生成量(存在量)の単位を指定する。 = -1 原子数で結果をまとめ出力する。 = 0 activity で結果をまとめ出力する。 = +1 原子数および activity の 2 通りの単位系で結果をまとめ出力する。 なお、activity 単位での出力のとき、具体的な単位系は後述する I Z の値で指示する。I Z の値を特に指示しないときは、 C_i (キュリー)である。	
I D	I 2	3 9 - 4 0	各核種の生成量(存在量)を、グラフにプロットするか否かを指示する。グラフは、ラインプリント上で作成する簡易グラフである。 = 0 グラフを作成しない(出力しない)。 = 1 グラフを作成する(出力する)。	
I E	I 2	4 1 - 4 2	解析解にもとづいた式を出力するか否かを指示する。 = 0 出力しない。 = 1 出力する。	
I X	I 2	4 3 - 4 4	= 0 計算の途中結果を調べるなどの特別な用途のために用いるパラメータである。一般には、常に IX = 0 (すなわちブランクのまま)であると考えた方が便利である。	
I Y	I 2	4 5 - 4 6	照射ヒストリーデータの入力(および出力)のうち、時刻の入力をどのように型式で行うかを指示する。 = 0 標準型式で行う。そのときの時間の単位は、前出 I UNQ に従う。 = 1 6 0 進表記(日時分秒)で行う。C# 0 9 の項目を参照のこと。	
I Z	I 2	4 7 - 4 8	前出 I C によって核種生成量(存在量)の出力単位系を activity とした場合、その出力単位系をさらに詳細に指示する。この I Z による指示は、activity 単位系出力のときのみ有効である。 = 0 C_i (キュリー)単位で結果をまとめ出力する。(ブランクのままでよい) = 1 disintegration rate で結果をまとめ出力する。単位は、前出 I UNQ ⁻¹ である。	

なお、前出 TNOM を活用することによって mCi 単位系出力などとすることができます。

RMIN E1 2.5 4 9 - 6 0 前出 ID で指示した簡易グラフを出力するとき、グラフの下限の取扱いを指示する。
 > 0.0 下限をこの値に固定する。
 = 0.0 下限はコード内部の判断にまかせる。

RMAX E1 2.5 6 1 - 7 2 前出 ID で指定した簡易グラフを出力するとき、グラフの上限の取扱いを指示する。
 > 0.0 上限をこの値に固定する。
 = 0.0 上限はコード内部の判断にまかせる。

ただし、RMIN ≥ RMAX のときは、コード内部で適当に判断し処理されるので、人力した RMIN・RMAX の値が意味を持たない場合がある。また、RMIN・RMAX の入力値（少なくともどちらか一方が=0.0 でないとき）の範囲でグラフを作成し意味のあるグラフを作成できなかつたとき、すなわち指定した範囲にプロットすべき点のないときは、グラフの出力は ID の指定に関係なく省略される。

I B 7 3 - 7 4 入力した chain の構成を判断した結果おもとづいた計算手順の概略を出力するか否かを指示する。
 = 0 出力しない。
 = 1 出力する。

I 2 7 5 - 7 6 = 0 後述するように 1 データセグメントに照射ヒストリーデータカードは最大 50 枚までである。time step が 50 をこえたときに、分割して入力することができますようにするときに用いるパラメータである。一般には、常に IW=0（すなわちアランクのまま）であると考えた方が便利である。

C#01 の各パラメータのうち、MAX や UNQ を除いた他のパラメータについては、無指定（ブランクのまま）とすると標準的な出力が得られる。
 換言すると、MAX・UNQ の 2 パラメータは必ず何らかの値を与えてはならない。

/TITLE F#1 1 2 0 A 4 0 1 - 8 0 8 0 文字以内のタイトル
 C#0 2 TITLE (array)

/NUC1 /NUCL
 C#0 3 NN
 -A, -B 2 F#1 2 I 4 0 1 - 0 4

> 0 各核種につけた通し番号を記入する。ここでつけた通し番号は、後述する I I や J J の値として用いることになる。NN の値は、前出 MAX (MAX > 0 のとき) またはライブライ -1 に登録されている chain length をこえることはできない。
 NN について = 0 (ブランクのまま)にしておき通し番号を省略する方法もあるが、一般的でない。ライブルリー専用のときは、ライブルリー - 内通し番号とする。

NAMA, NAMB 2 A 4 0 5 - 1 2 8 文字以内で核種の名称を考える。核データライブライ - を使用するときは、一般に無視されライブライ - 内に登録された名稱が有効となる。

AN0 Q	E 1 2 . 5	1 3 - 2 4	$\geq 0 . 0$	この核種の原子数初期値を与える。
KEY Q	I 4	2 5 - 2 8	一般には、dummy であり何の意味もない。常にランクのままであると考えた方が便利である。(FP transport または release の取扱い型などを指示する値を入力するため用いる。)	

この C# 0 3 - A - B 2 のカードは、C# 0 1 の MAX > 0 のとき MAX 枚、MAX < 0 のとき MAX 枚、MAX = 0 のとき一般に先立って入力される C# 0 3 - B 1 (次で述べる) の MAX 枚を用意する。

C# 0 3	MAX	F# 1 3	I 6	0 1 - 0 6	≥ 0	このカードに続いて入力する C# 0 3 - B 2 の枚数。この C# 0 3 - B 1 のカードは、前出 MAX < 0 のときのみ用いる。続いて入力する C# 0 3 - B 2 の枚数は、原子数初期値を与える必要のある核種の数だけ用意すればよい。LMAX = 0 のときは、C# 0 3 - B 2 のカードは不要であり、ライブライ - 内通り番号 1 の核種について ANO Q = 1.0 の原子数初期値が与えられる。
					< 0	符号を取除いた LMAX の値と同じライブライ - 内通り番号をもつ核種 1 核種の原子数初期値 ANO Q = 6.0×10^{-3} (1 mole) とする。C# 0 3 - B 2 のカードを用意する必要はない。

C# 0 4	MAX	F# 1 3	I 6	0 1 - 0 6	≥ 0	続いて入力する C# 0 5 - 1 または - 2 のカード枚数。一般に /KIND3 のときは、LMAX = 0 である。
--------	-----	--------	-----	-----------	----------	---

C# 0 5	NUCL	/KIND1, /KIND2, /KIND3	I 1	0 1 - 1 2	> 0	decay するときの親核種の持つ通り番号。この C# 0 5 - 1 および後述する C# 0 5 - 2 ・ C# 0 6 - 1 ・ - 2 の I 1 および J J の値は、前出カード C# 0 3 - A - B 2 の NN あるいはライブライ - 内通り番号のそれと対応させる。
- 1						

DCSQ	E 1 2 . 5	0 3 - 1 4	> 0 . 0	次項目 IU > 0 のときは核種 I I の半減期の値を、IU ≤ 0 のときは標準定数の値を与える。
------	-----------	-----------	---------	--

I U	I 2	1 5 - 1 6	> 0	前出 DC SQ の値を半減期とみなす。 = 1 その単位を sec とする。 = 2 その単位を min とする。 = 3 その単位を hour とする。 = 4 その単位を day とする。 = 5 その単位を year とする。
-----	-----	-----------	-----	--

- ≤ 0 前出 DCS Q の値を標準定数とみなす。
- $= -1$ その単位を sec^{-1} とする。
- $= -2$ その単位を min^{-1} とする。
- $= -3$ その単位を hour^{-1} とする。
- $= -4$ その単位を day^{-1} とする。
- $= -5$ その単位を hour^{-1} とする。
- $= 0$ その単位を前出 I U N Q $^{-1}$ とする。ただし、I U = 0 は一般的でない。

J MAX I 2 1 7 - 1 8 ≥ 0 このカードに続いて入力する C # 0 6 - 1 のカード枚数。すなわち核種 II が decay するときの娘核種の数。この核データ入力の範囲で考慮すべき娘核種だけです。decay して行く先が不明または考慮しなくてよい場合には J MAX = 0 とする。J MAX = 0 のときは、C # 0 6 - 1 のカードを用意する必要はない。

C # 0 6 -1	J J	F # 1 4	I 2	0 1 - 0 2	> 0	核種 II が decay していく先の娘核種の持つ番号。
B R C Q	E 1 2 5		0 3 - 1 4	≥ 0.0	核種 II から J J へ branching ratio の値を無単位	
				≤ 1.0	ではなく比率で与える。一般に前出 J MAX = 1 のときは、このBRCQ の値は 1.0 である。前出 J MAX = 1 のときに BRCQ の値の入力を省略すると、コード内部で BRCQ = 1.0 とみなされる。したがって、J MAX = 1 で BRCQ = 0.0 と等価に扱い処理したいときは、J MAX = 0 としての C # 0 6 - 1 のカードを用意しない。	

C # 0 5 - 1 および C # 0 6 - 1 については、核種 II が DCS Q (および I U) の値で decay していくとき、J MAX 値の娘核種が生成する。そして、その各自々の娘核種は J J でありその branching ratio は B R C Q の値である。以上のように、コード内で判断され処理される。C # 0 6 - 1 のカードは直前の C # 0 5 - 1 のカードの J MAX 値だけ用意する。

/KIND 2 /NUC 1 /NUCL C # 0 5 I I F # 1 4 -1	I 2	0 1 - 0 2	> 0	activation または fission するときの target 核種 II の持つ番号。
D C S Q	E 1 2 5	0 3 - 1 4	≥ 0.0	そのときの有効反応断面積(単位 barn(10^{-24} cm^2)) を与える。
I U	I 2	1 5 - 1 6	dummy (ブランクのままにしておく) 。	
J MAX	I 2	1 7 - 1 8	≥ 0	このカードに続いて入力する C # 0 6 - 2 のカード枚数。すなわち、核種 II が activation または fission するときの生成核種の数であり、この核データ入力において人力され考慮する必要のある範囲での数である。反応して生成する核種が不明または考慮する必要のないときは、J MAX = 0 とし C # 0 6 - 2 の

カードを用意する必要はない。C#05-1のJMAXの項を参照のこと。

C#06 -2	J J	F#14	I 2	0 1 - 0 2	>0	核種IIがactivationまたはfissionして生成する核種の持つ通り番号。
	B R C Q	E 1 2 . 5	0 3 - 1 4	≥ 0.0	activationのときは、一般に1.0である。前出DCSQにtotal cross sectionを入力したときは、このBRCQに核種Jへの生成確率を与える。	

一般には、核種IIの反応の種類別にDCSQおよびBRCQを入力する方が便利である。fissionのときは、独立収率の値を与える。いすれのときも%単位ではなく比率で与える。前出JMAXが1のときのBRCQ入力の省略について、C#06-1カードのBRCQの項目と同じである。

C#05-2およびC#06-2については、核種IIがDCSQの断面積で反応していき、JMAX個の核種が生成する。あるいは、JMAX個の核分裂生成物が生じる。そして、核種Jが生成する収率はBRCQである。以上のように、コード内で判断され処理される。C#06-2のカードは直前のC#05-2のカードのJMAX枚だけ用意する。

/KIND3に属すC#05-3およびC#06-3のカードの各変数名および定義は、ユーザーの定義に依存し、一般の核データ処理の場合は不要である。
Fortran name および format は、C#05-1およびC#06-1と同じである。

✓HIST -2	MAXQ	F#13	I 6	0 1 - 0 6	符合を取除いたMAXQの値は、このカードに統いて入力するC#08またはC#09の枚数。すなわち、照射ヒストリーのtime step数。1データセットにつき最大50stepまでである。
				>0	全time stepについて出力をする。
				<0	最後のtime stepについてのみ出力をする。

(C#01カードのIY=0のとき、標準型式による入力)

C#08	TIME	F#15	E 1 2 . 5	0 1 - 1 2	1 time step 当り1枚このカードを用意する。
(array)				≥ 0.0	照射ヒストリー名 time step のはじまりの時刻。
				< 0.0	符号を取除いたTIMEの値を前のtime step のはじまりの時刻に加え、この値をこのtime step のはじまりの時刻とする。すなわち、各time step の時間巾で入力することができます。したがって、第1番目のtime step ではTIME<0.0とするとはできない。

単位は、前出IUNQに従う。また1照射ヒストリーデータセット内で、TIME≥0.0を混用してさしつかえない。

FLUX
(array)

E 1 2 . 5 1 3 - 2 4 そのtime step 中の中性子束の値を与える。冷却期中であれば、FLUX=0.0とす

る。数値の頭につける符号で単位を与える。
 ≥ 0.0 単位を $1.0 \times 10^{12} \text{ n/sec/cm}^2$ とする。
 ≤ 0.0 単位を $1.0 \times 10^9 \text{ n/sec/cm}^2$ とする。

J TND I 4 2 5 - 2 dummy (ブランクのままにしておく)。

T DIV E 1 2.5 2 9 - 4 0 符合を取除いた値は、その time step 中結果を必要とする時間のきざみ、すなわち
 (array) TIME mesh のこと。単位は I UN Q に従う。T DIV ≤ 0.0 のときは、直前の time step で
 step で採用した T DIV の値をそのまま用いる。ただし、第1番目の time step で
 $T DIV = 0.0$ もしくは $T DIV < 0.0$ とすると $T DIV = 1.0$ がコード内部で与えら
 れる。

(C#01 カードの I Y=1 のとき、6 0 進表記による入力)
 C#09 TIME I 3, 3(1X, I2) 0 1 - 1 2 $\geqq 0$ C#08 カード TIME と同じ。ただし、1日(目)12時5分のときには、
 (array) F#16 0 0 1 ↗ 1 2 ↗ 0 5 ↗ 0 0 というようだ。日時分秒の順に 6 0 進表記を用いる。
 ただし、↗はブランクを示す。例に示したところには、001D12H05M00 の
 ように符合をつけてもよい。

FLUX E 1 2.5 1 3 - 2 4 $\geqq 0.0$ C#08 カードの FLUX と同じ。符合によって単位が指示され、符合を取除
 (array) いた値が中性子束の値である。

T DIV I 3, 3(1X, I2) > 0 C#08 カードの T DIV と同じ。ただし、C#09 カード TIME と同様に 6 0
 (array) 進表記を用いる。

C#08 または C#09 は、TIME $\geqq 0.0$ のとき TIME の値の順にならべ card deck を構成する。

C#01 の MAX < 0 のときは C#04 ~ C#06 は不要である。

C#01 の I UN Q = -1 のときは C#07 ~ C#09 は不要である。

C#01 の I UN Q = -2 のときは C#03 ~ C#06 は不要である。

したがって、いずれの入力データセットにおいても C#01 ~ C#02 は必要である。

PAGE 1

Fig. 1 FORTRAN list of CODAC-No.4 code

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9

```

1   C -----
2   C   I   -----
3   C   I   CODA C - CODE      I   FREE TYPE      ( NO. 04 )   I
4   C   I   -----
5   C   -----
6   1   COMMON DCL(50,3),TIME(50),ANO(50),SUM(50),EBRC(50,50),C(50,50), 00000010
7   *   DCX(50,3),TDIV(50),EDC(50),JB(50),EBRK(50,50),D(50,50), 00000020
8   *   NAM(2,50),FLUX(50),KEY(50),AIU(50),FIU(50),IC, ID, IE, RMIN, 00000030
9   *   COA,COB,COC,CS,KEYS,MAX,JCALC,TFIN,MAXQ, IX,IY,IZ,RMAX, 00000040
10  *   FLUXQ,TNOM,IUNT,IB,IW,IV,IVA,IVB,IVC 00000050
11  C   * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
12  C   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *
13  C   *   CODA C   STANDARD   *   FREE, LIBRARY   *
14  C   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *
15  C   * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
16  2   110 CALL ANDREA          00000060
17  3   IF(MAX,EQ,0) GO TO 900 00000070
18  4   JCALC=1                  00000080
19  5   IVA=0                   00000090
20  6   100 CALL BRENDA         00000100
21  7   CALL CECILE            00000110
22  8   CALL ELVIRA            00000120
23  9   IVA=IVA+1             00000130
24  10  IF(IX,LT,0) CALL HELENE 00000140
25  11  JCALC=JCALC+1         00000150
26  12  IF(MAX@-JCALC) 110,100,100 00000160
27  13  900 WRITE(6,10)        00000170
28  C   ----- NOTE -----
29  C   I   -----
30  C   I   DATA STATEMENTS IN SUBROUTINE NO. 5 ARE LIBRARY OF   I
31  C   I   NUCLEAR DATA MADE FOR USER'S ROUTINE WORK.   I
32  C   I   -----
33  C   I   ( SEE NOTES IN SUBROUTINE NO. 1 AND NO. 5 . )   I
34  C   I   ( REF. JAERI-M 6148, 6399 . )   I
35  C   I   -----
36  C   -----
37  14  STOP                  00000180
38  C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
39  15  10 FORMAT(//1H ,80X,'***** END OF CODAC-ST *****') 00000190
40  C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
41  16  END                   00000200

```

```

42  C -----
43  C   I   -----
44  C   I   SUBROUTINE NO. 001   I
45  C   I   -----
46  C   -----
47  17  SUBROUTINE ANDREA      01000010
48  C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
49  18  COMMON DCL(50,3),TIME(50),ANO(50),SUM(50),EBRC(50,50),C(50,50), 01000020
50  *   DCX(50,3),TDIV(50),EDC(50),JB(50),EBRK(50,50),D(50,50), 01000030
51  *   NAM(2,50),FLUX(50),KEY(50),AIU(50),FIU(50),IC, ID, IE, RMIN, 01000040
52  *   COA,COB,COC,CS,KEYS,MAX,JCALC,TFIN,MAXQ, IX,IY,IZ,RMAX, 01000050
53  *   FLUXQ,TNOM,IUNT,IB,IW,IV,IVA,IVB,IVC 01000060
54  19  DIMENSION TITLE(20),AIUF(2,15),BB(2),BNO(50) 01000070
55  20  DATA COA,COB,COC,CS /0.6931472,1.0E-12,1.0E-06,1.0E+05/ 01000080
56  21  DATA (FIU(I),I=1,5)/1.0,60,0,3600,0,8.64E+04,3,1557082E+07/ 01000090
57  22  DATA (AIU(I),I=1,5)/4HSEC ,4HMIN ,4HHOUR,4HDAY ,4HYEAR/ 01000100
58  23  DATA (AIUF(1,I),AIUF(2,I),I=1,12) / 01000110
59  *   4HYEAR,4H(-1) , 4HDAY(4H-1) , 4HHOUR,4H(-1) , 4HMIN(,4H-1) ,01000120
60  *   4HSEC(,4H-1) , 4H , 4H , 4HSEC ,4H , 4HMIN ,4H ,01000130
61  *   4HHOUR,4H , 4HDAY ,4H , 4HYEAR,4H , 4H , 4H /01000140
62  24  DATA MAXQ / 0 /, LIMIT / 50 / 01000150
63  25  DATA K1,K2,K3,K4,M1,M2,M3,M4 / 0,0,0,0, 0,0,0,0 / 01000160
64  C..., --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
65  26  LC=0                   01000170
66  27  LD=0                   01000180
67  28  LY=0                   01000190
68  29  LZ=0                   01000200
69  30  IU=0                   01000210
70  31  II=0                   01000220

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9

PAGE 2

```

-----+---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 |  

71 32      JJ=0                                01000230  

72 33      JMAX=0                             01000240  

73 34      LMAX=0                             01000250  

74 35      DX=0.0                            01000260  

75 36      DCSQ=0.0                           01000270  

76 37      BRCQ=0.0                           01000280  

77 38      IF(MAXQ.EQ.0) CALL DATE(BB)        01000290  

78 39      READ(5,10) MAK,IUNQ,TFIN,TNOM,IC>ID,IE,IX,IY,IZ,RMIN,RMAX,IB,IW 01000300  

79 C      ----- NOTE -----  

80 C      I  

81 C      I (1) IF 'MAX' IS NEGATIVE VALUE, NUCLEAR DATA IN  

82 C      I LIBRARY ARE USED ( LIBRARY INDEX = '-MAX' ),  

83 C      I AND INPUT OF NUCLEAR DATA IS NOT NECESSARY.  

84 C      I  

85 C      I (2) IF 'IUNT' IS NEGATIVE VALUE, PREVIOUS INPUT DATA  

86 C      I OF OPERATION MODE ARE USED AGAIN, AND INPUT OF  

87 C      I OPERATION MODE DATA IS NOT NECESSARY.  

88 C      I  

89 C      -----  

90 40      IF(IUNQ.LT.0.AND.MAXQ.NE.0) LC=IUNQ          01000310  

91 41      IF(LC.EQ.0) IUNT=IUNQ                      01000320  

92 42      IF(IUNQ.GE.-1) MAX=MAK                     01000330  

93 43      IF(RMIN.LT.0.0) RMIN=0.0                  01000340  

94 44      IF(RMAX.LE.RMIN) RMAX=0.0                01000350  

95 45      IF(MAX.GE.0) GO TO 310                  01000360  

96 46      MAX=-MAX                            01000370  

97 47      LD=-1                               01000380  

98 48      CALL KITTY(LD,DX,MAX,LZ)                 01000390  

99 49      LIB=LZ                             01000400  

100 50     310 IF(MAX.LE.0) GO TO 999             01000410  

101 51     IF(MAX.GT LIMIT) GO TO 180            01000420  

102 52     WRITE(6,2)                            01000430  

103 53     WRITE(6,3)                            01000440  

104 54     WRITE(6,1)                            01000450  

105 55     WRITE(6,50)                           01000460  

106 56     IF(CINOM.LE.0.0) TNOM=1.0              01000470  

107 57     IF(IUNT.LE.0) IUNT=3                  01000480  

108 58     CALL DATE(BB)  

109 59     READ(5,11) (TITLE(I),I=1,20)           01000490  

110 60     WRITE(6,51) (TITLE(I),I=1,20),BB(1),BB(2) 01000500  

111 61     IF(LD.NE.0) WRITE(6,80) LIB            01000510  

112 62     WRITE(6,52) MAX,AIU(IUNT),TNOM         01000520  

113 63     WRITE(6,3)  

114 64     IF(IX,NE.0) WRITE(6,53) IC, ID, IE, IX, IY, IZ 01000530  

115 65     WRITE(6,1)  

116 66     N=0                               01000540  

117 67     KEYS=0                            01000550  

118 C.... ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 |  

119 68     IF(LC.LT.-1) GO TO 440               01000560  

120 69     IF(LD.NE.0) GO TO 320               01000570  

121 70     DO 104 I=1,MAX                      01000580  

122 71     READ(5,12) NN,NAMA,NAMB,ANOR,KEYQ       01000590  

123 72     IF(NN.LT.0.OR.NN.GT.LIMIT) GO TO 180    01000600  

124 73     IF(NN.NE.0) N=NN                    01000610  

125 74     IF(NN.EQ.0) N=N+1                  01000620  

126 75     IF(N.GT.MAX) GO TO 180              01000630  

127 76     NAM(1,N)=NAMA                         01000640  

128 77     NAM(2,N)=NAMB                         01000650  

129 78     IF(ANQ.LT.0.0) ANQ=0.0              01000660  

130 C      ----- IW -----  

131 79     IF(IW.EQ.0) ANO(N)=ANOQ             01000670  

132 80     KEY(N)=KEYQ                         01000680  

133 81     IF(KEYQ.NE.0) KEYS=KEYS+1          01000690  

134 82     104 CONTINUE                      01000700  

135 83     GO TO 350                         01000710  

136 84     320 CONTINUE                      01000720  

137 85     LD=-2                            01000730  

138 86     DO 330 I=1,MAX                      01000740  

139 87     ANO(I)=0.0                         01000750  

140 88     KEY(I)=0                          01000760  

141 89     NAMA=0                           01000770  

142 90     NAMB=0                           01000780  

143 91     CALL KITTY(LD,DX,NAMA,NAMB)        01000790  

144 92     NAM(1,I)=NAMA                      01000800  

145 93     NAM(2,I)=NAMB                      01000810

```

```

-----+---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 |  


```

PAGE 3

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 |  

146   94    330 CONTINUE                                01000850  

147   95    READ(5,13) LMAX                            01000860  

148   96    IF(LMAX.LE.0) GO TO 345                  01000870  

149   97    DO 340 I=1,LMAX                            01000880  

150   98    READ(5,12) NN,NAMA,NAMB,ANON              01000890  

151   99    IF(NN.LE.0.OR.NN.GT.LIMIT) GO TO 180      01000900  

152  100    IF(ANON,LT.,0,0) ANON=0.0                 01000910  

153  101    ANO(NN)=ANO@                            01000920  

154  102    340 CONTINUE                                01000930  

155  103    GO TO 350                                01000940  

156  104    345 IF(LMAX,EQ.0) ANO(1)=1.0             01000950  

157  105    IF(LMAX,LT.0) ANO(-LMAX)=6.0E+23        01000960  

158 C.... --1----2----3----4----5----6----7----8 |  

159  106    350 CONTINUE                                01000970  

160  107    KSTW=MAX/3                               01000980  

161  108    KSTP=MAX-KSTQ                           01000990  

162  109    IF(KSTP.GT.0) KSTQ=KSTQ+1            01001000  

163  110    WRITE(6,70)                            01001010  

164  111    DO 200 I=1,KSTW                      01001020  

165  112    KSTP=(MAX-I)/KSTQ+1                01001030  

166  113    IF(KSTP,EQ.1) WRITE(6,81) (K,NAM(1,K),NAM(2,K),ANO(K),K=1,MAX,KSTQ) 01001040  

167    *)                                              01001050  

168  114    IF(KSTP,EQ.2) WRITE(6,82) (K,NAM(1,K),NAM(2,K),ANO(K),K=I,MAX,KSTQ) 01001060  

169    *)                                              01001070  

170  115    IF(KSTP,EQ.3) WRITE(6,71) (K,NAM(1,K),NAM(2,K),ANO(K),K=I,MAX,KSTQ) 01001080  

171    *)                                              01001090  

172  116    200 CONTINUE                                01001100  

173  117    WRITE(6,1)                            01001110  

174  118    DO 110 I=1,MAX                          01001120  

175  119    SUM(I)=0.0                            01001130  

176  120    DO 930 K=1,3                          01001140  

177  121    DCL(I,K)=0.0                          01001150  

178  122    DCX(I,K)=0.0                          01001160  

179  123    930 CONTINUE                                01001170  

180  124    DO 109 J=1,MAX                          01001180  

181  125    EBRC(I,J)=0.0                          01001190  

182  126    U(I,J)=0.0                            01001200  

183  127    109 CONTINUE                                01001210  

184  128    110 CONTINUE                                01001220  

185  129    DO 410 I=1,MAX                          01001230  

186  130    BNO(I)=ANO(I)                          01001240  

187  131    410 CONTINUE                                01001250  

C.... --1----2----3----4----5----6----7----8 |  

188  132    360 DO 124 K=1,3                        01001260  

189  133    IF(LD,EQ.0) READ(5,13) LMAX              01001270  

190  134    IF(LD,NE.0) CALL KITTY(LMAX,DX,LY,LZ)  01001280  

191  135    LLX=0                                  01001290  

192  136    IF(LMAX,LT.0) LLX=1                     01001300  

193  137    IF(LLX,NE.0) LMAX=-LMAX                01001310  

194  138    IF(LMAX,EQ.0) GO TO 124                01001320  

195  139    DO 370 L=1,MAX                          01001330  

196  140    SUM(L)=DCL(L,K)                         01001340  

197  141    DCL(L,K)=0.0                          01001350  

198  142    370 CONTINUE                                01001360  

199  143    DO 122 I=1,LMAX                          01001370  

200  144    IF(LD,EQ.0) READ(5,14) II,DCSQ,IU,JMAX  01001380  

201  145    IF(LD,NE.0) CALL KITTY(II,DCSQ,IU,JMAX) 01001390  

202  146    IF(DCSQ,LT.0.0) DCSQ=0.0               01001400  

203  147    IF(II,LE.0.OR.II.GT.MAX) GO TO 180      01001410  

204  148    IF(K,EQ.2) GO TO 119                  01001420  

205  149    DCSH=DCS@                            01001430  

206  150    IUNH=IU+6                            01001440  

207  151    IU=IU+6                            01001450  

208  152    IF(IU) 111,113,112                   01001460  

209  153    111 IU=IU                            01001470  

210  154    IF(IU,GT,5) GO TO 180                  01001480  

211  155    DCSQ=COA/DCSQ                         01001490  

212  156    112 DCSQ=DCS@*FIU(IUNT)/FIU(IU)     01001500  

213  157    113 CONTINUE                                01001510  

214  158    119 IF(JMAX,LE.0) GO TO 117          01001520  

215  159    BRCSS=0.0                            01001530  

216  160    DO 121 J=1,JMAX                          01001540  

217  161    IF(LD,EQ.0) READ(5,14) JJ,BRCQ          01001550  

218  162    IF(LD,NE.0) CALL KITTY(JJ,BRCQ,LY,LZ)  01001560  

219  163    IF(BRCQ,LT.0.0) BRCQ=0.0               01001570

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 |  


```

PAGE 4

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1

221 164      BRC$=BRC$+BRC@          01001580
222 165      IF(JJ,LE,0,OR,JJ,GT,MAX) GO TO 180 01001590
223 166      IF(JJ,EQ,II) GO TO 180 01001600
224 167      IF(BRC@,EQ,0,0,AND,JMAX,EQ,1) GO TO 115 01001610
225 168      IF(BRC@,EQ,1,0,AND,JMAX,EQ,1) GO TO 115 01001620
226 169      IF(K,EQ,1) WRITE(6,60) II,JJ,DCS@,BRC@ 01001630
227 170      IF(K,EQ,2) WRITE(6,62) II,JJ,DCS@,BRC@ 01001640
228 171      IF(K,EQ,3) WRITE(6,74) II,JJ,DCS@,BRC@ 01001650
229 172      IF(K,NE,2) WRITE(6,73) DCSF,AIUF(1,IUNF),AIUF(2,IUNF) 01001660
230 173      GO TO 116 01001670
231 174      BRC@=1,0 01001680
232 175      IF(K,EQ,1) WRITE(6,61) II,JJ,DCS@ 01001690
233 176      IF(K,EQ,2) WRITE(6,63) II,JJ,DCS@ 01001700
234 177      IF(K,EQ,3) WRITE(6,75) II,JJ,DCS@ 01001710
235 178      IF(K,NE,2) WRITE(6,73) DCSF,AIUF(1,IUNF),AIUF(2,IUNF) 01001720
236 179      116 D(II,JJ)=K 01001730
237 180      EBRC(JJ,II)=BRC@*DCS@ 01001740
238 181      121 CONTINUE 01001750
239 182      IF(K,NE,2,AND,BRCS,GT,1,0) WRITE(6,68) BRCS 01001760
240 183      IF(K,EQ,2,AND,BRCS,GT,2,0) WRITE(6,69) BRCS 01001770
241 184      GO TO 118 01001780
242 185      117 IF(K,EQ,1) WRITE(6,58) II,DCS@ 01001790
243 186      IF(K,EQ,2) WRITE(6,57) II,DCS@ 01001800
244 187      IF(K,EQ,3) WRITE(6,76) II,DCS@ 01001810
245 188      IF(K,NE,2) WRITE(6,73) DCSF,AIUF(1,IUNF),AIUF(2,IUNF) 01001820
246 189      118 SUM(II)=SUM(II)+DCS@ 01001830
247 190      122 CONTINUE 01001840
248 191      DO 123 I=1,MAX 01001850
249 192      IF(DCL(I,K),EQ,0,0) DCL(I,K)=SUM(I) 01001860
250 193      SUM(I)=0,0 01001870
251 194      123 CONTINUE 01001880
252 195      124 CONTINUE 01001890
253 C,,,  ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
254 196      LMAX=0 01001900
255 197      IF(LD,NE,0) CALL KITTY(LMAX,DX,LY,LZ) 01001910
256 198      IF(LMAX,GT,0) GO TO 360 01001920
257 199      IF(LLX,NE,0) GO TO 360 01001930
258 200      DO 380 I=1,MAX 01001940
259 201      IF(DCL(I+1),LE,0,0) WRITE(6,78) I 01001950
260 202      380 CONTINUE 01001960
261 203      134 DO 142 I=1,MAX 01001970
262 204      DO 141 J=1,MAX 01001980
263 205      DO 140 K=1,3 01001990
264 206      DK=K 01002000
265 207      IF(DCL(I,K),EQ,0,0) GO TO 140 01002010
266 208      IF(D(I,J),EQ,DK) EBRC(J,I)=EBRC(J,I)/DCL(I,K) 01002020
267 209      140 CONTINUE 01002030
268 210      141 CONTINUE 01002040
269 211      142 CONTINUE 01002050
270 C,,,  ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
271 212      IF(LC,GE,-1) GO TO 450 01002060
272 213      440 DO 445 I=1,MAX 01002070
273 214      ANO(I)=BNO(I) 01002080
274 215      445 CONTINUE 01002090
275 216      WRITE(6,72) 01002100
276 217      450 CONTINUE 01002110
277 218      TT=0,0 01002120
278 219      WRITE(6,1) 01002130
279 220      IF(LC,EQ,-1) GO TO 154 01002140
280 221      165 READ(5,13) MAX@ 01002150
281 222      IF(MAX@,EQ,0) GO TO 153 01002160
282 223      IV=0 01002170
283 224      IF(MAX@,LT,0) IV=1 01002180
284 225      IF(IV,NE,0) MAX@=-MAX@ 01002190
285 226      DO 151 I=1,MAX@ 01002200
286 C      ----- IY -----
287 227      IF(IY,EQ,0) GO TO 146 01002210
288 228      READ(5,16) K1,K2,K3,K4,FLUX(I),M1,M2,M3,M4 01002220
289 229      CALL SANDRA(TT,IUNT,K1,K2,K3,K4,0) 01002230
290 230      TIME(I)=TT 01002240
291 231      CALL SANDRA(TT,IUNT,M1,M2,M3,M4,0) 01002250
292 232      TDIV(I)=TT 01002260
293 233      GO TO 148 01002270
294 234      146 READ(5,15) TIME(I),FLUX(I),JTND,TDIV(I) 01002280
295 235      148 IF(FLUX(I),LE,0,0) FLUX(I)=FLUX(I)*1.0E-12 01002290

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1

```

PAGE 5

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1
296 236      IF(I.EQ.1) GO TO 150                                01002300
297 237      IF(TDIV(I).LE.0) TDIV(I)=TDIV(I-1)                01002310
298 238      IF(TIME(I).LE.0.0) GO TO 149                      01002320
299 239      IF(TIME(I).LE.TIME(I-1)) TIME(I)=TIME(I)+TIME(I-1) 01002330
300 240      GO TO 151                                         01002340
301 241      149 TIME(I)=TIME(I-1)-TIME(I)                   01002350
302 242      GO TO 151                                         01002360
303 243      150 IF(TDIV(I).LE.0) TDIV(I)=1.0                 01002370
304 244      151 CONTINUE                                     01002380
305 245          IF(TFIN.GT.0.0) GO TO 154                     01002390
306 246          IF(TFIN.LT.0.0) TFIN=-TFIN                  01002400
307 247          IF(TFIN.EQ.0.0) TFIN=40.0*TDIV(MAXQ)        01002410
308 248          GO TO 154                                         01002420
309 249      153 TFIN=40.0                                     01002430
310 250          TIME(1)=0.0                                 01002440
311 251          FLUX(1)=0.0                                01002450
312 252          IF(TDIV(1).EQ.0.0) TDIV(1)=1.0             01002460
313 253          MAXQ=1                                    01002470
314 254      154 CONTINUE                                     01002480
315 255          IF(LC.EQ.-1) TFIN=TFINO                    01002490
316 256          TFINO=TFIN                               01002500
317 257          KSTQ=MAXQ/3                            01002510
318 258          KSTP=MAXQ-KSTQ                         01002520
319 259          IF(KSTP.GT.0) KSTQ=KSTQ+1               01002530
320 260          WRITE(6,64)                                01002540
321 261          DO 175 I=1,KSTQ                         01002550
322 262          WRITE(6,65) (K,TIME(K),FLUX(K),TDIV(K),K=I,MAXQ,KSTQ) 01002560
323 263      175 CONTINUE                                     01002570
324 264          IF(LC.EQ.-1) WRITE(6,66)                  01002580
325 265          WRITE(6,1)                                01002590
326 266          GO TO 999                                01002600
327 267          180 MAX=0                                01002610
328 268          WRITE(6,77)                                01002620
329 269          999 RETURN                                01002630
330 270      C.... -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
331 270          1 FORMAT(1H ,135(1H-),/)
332 271          2 FORMAT(1H1)
333 272          3 FORMAT(//)
334 273          10 FORMAT(2I6,2E12.5, 6I2,2E12.5,4I2)       01002640
335 274          11 FORMAT(2U4)
336 275          12 FORMAT(14,2A4,E12.5,14)                  01002650
337 276          13 FORMAT(2I6)
338 277          14 FORMAT(I2, E12.5,2I2)                  01002660
339 278          15 FORMAT(2E12.5,I4,E12.5,10I2)            01002670
340 279          16 FORMAT(I3,3(IX,12),E12.5,I3,3(IX,12))    01002680
341 280          50 FORMAT(1H ,30X,'SOLUTION OF COMPLEX DECAY, ACTIVATION AND FISSION') 01002690
342 281          1CHAIN BY CODAC   ')                      01002700
343 282          51 FORMAT(1H ,30X,20A4,2X,5A4)                01002710
344 282          52 FORMAT(1H ,30X,'CHAIN LENGTH = ',I2,5X,'TIME UNIT = ',A4,5X,'NORM,01002720
345 283          1 FACTOR = ',1PE12.5)                   01002730
346 284          53 FORMAT(1H ,10X,'IC>ID,IE,IX,IY,IZ = ',6(I2,2X)) 01002740
347 284          55 FORMAT(1H , 'NUCLIDE NAME',10(4X,2A4))     01002750
348 285          57 FORMAT(1H ,10X,'NUCL(',I2,') IS ACTIVATION, ', 01002760
349 285          1 'CROSS SECTN =',1PE12.5)              01002770
350 286          58 FORMAT(1H ,10X,'NUCL(',I2,') IS DECAY, ', 01002780
351 286          1 'DECAY CONST =',1PE12.5)              01002790
352 287          60 FORMAT(1H ,10X,'NUCL(',I2,') TO (',I2,') IS BRANCH DECAY, ', 01002800
353 287          1 'DECAY CONST =',1PE12.5,25X,'BRANCH RATIO =',E12.5) 01002810
354 288          61 FORMAT(1H ,10X,'NUCL(',I2,') TO (',I2,') IS DECAY, ', 01002820
355 288          1 'DECAY CONST =',1PE12.5)              01002830
356 289          62 FORMAT(1H ,10X,'NUCL(',I2,') TO (',I2,') IS FISSION, ', 01002840
357 289          1 'CROSS SECTN =',1PE12.5,25X,'FISSION YIELD=',E12.5) 01002850
358 290          63 FORMAT(1H ,10X,'NUCL(',I2,') TO (',I2,') IS ACTIVATION, ', 01002860
359 290          1 'CROSS SECTN =',1PE12.5)              01002870
360 291          64 FORMAT(1H ,10X,'UNIT OF NEUTRON FLUX = 1.E+12 N/SEC/CM(2)  ',01002880
361 291          * //1H ,10X,3('-----',-----',-----'),/ 01002890
362 292          65 FORMAT(1H ,10X,3(I3,1X,1P2E12.5,E10.3,2X) 01002900
363 293          66 FORMAT(1H0,10X,'INPUT OF IRRAD. HISTORY WAS SKIPPED, ') 01002910
364 294          68 FORMAT(1H ,96X,'* TOTAL B. R. =',1PE12.5,' SUITABLE ?' ) 01002920
365 294          69 FORMAT(1H ,96X,'* TOTAL F. Y. =',1PE12.5,' SUITABLE ?' ) 01002930
366 295          70 FORMAT(1H ,10X,3(8X,'NUCLIDE NAME NUMBER OF ATOMS',3X),/ 01002940
367 296          71 FORMAT(1H ,10X,3('NUCL(',I2,') IS ',2A4,', ',1PE12.5,5X) 01002950
368 297          72 FORMAT(1H ,10X,'INPUT OF NUCLEAR DATA WAS SKIPPED, ') 01002960
369 298          73 FORMAT(1H+,74X,' =',G12.5,2A4)           01002970
370 299

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1

```

PAGE 6

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
 371 300    74 FORMAT(1H ,10X,'NUCL('',12,'') IS SPECIAL CASE.      ', 01003040
 372          1   'DECAY CONST =',1PE12.5,25X,'BRANCH RATIO =',E12.5) 01003050
 373 301    75 FORMAT(1H ,10X,'NUCL('',12,'') IS SPECIAL CASE.      ', 01003060
 374          1   'DECAY CONST =',1PE12.5) 01003070
 375 302    .76 FORMAT(1H ,10X,'NUCL('',12,'') IS SPECIAL CASE.      ', 01003080
 376          1   'DECAY CONST =',1PE12.5) 01003090
 377 303    77 FORMAT(1H ,10X,'INPUT DATA WAS NOT SUITABLE, SO SHOULD BE CHECK AG01003100
 378          1AIN.') 01003110
 379 304    78 FORMAT(1H ,10X,'NUCL('',12,'') IS STABLE.           ') 01003120
 380 305    80 FORMAT(1H ,110X,' LIBRARY INDEX = ',12            ) 01003130
 381 306    81 FORMAT(1H ,10X,'NUCL('',12,'') IS ',2A4,'.', '=',1PE12.5,5X) 01003140
 382 307    82 FORMAT(1H ,10X,2('NUCL('',12,'') IS ',2A4,'.', '=',1PE12.5,5X)) 01003150
 383 C....  -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
 384 308    END 01003160

```

```

385 C -----
386 C I
387 C I      SUBROUTINE NO. 002
388 C I
389 C -----
390 309    SUBROUTINE BRENDA 02000010
391 C...,  -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
392 310    COMMON DCL(50,3),TIME(50),ANO(50),SUM(50),EBRC(50,50),C(50,50), 02000020
393          * DCX(50,3),TDIV(50),EDC(50), JB(50),EBRK(50,50),D(50,50), 02000030
394          * NAM(2,50),FLUX(50),KEY(50),AIU(50),FIU(50),IC, ID, IE, RMIN, 02000040
395          * COA,COB,COC,CS,KEYS,MAX,JCALC,TFIN,MAXQ, IX,IY,IZ,RMAX, 02000050
396          * FLUX0,TNOM,IUNT,IB,IW,IV,IVA,IVB,IVC 02000060
397 C...,  -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
398 311    IF(MAX,EQ,0) GO TO 999 02000070
399 312    IF(IZ.GT.0) GO TO 900 02000080
400 C -----
401 C I
402 C I      THIS SUBROUTINE SHOULD BE MADE FOR USER'S OPTION.  I
403 C I
404 C -----
405 313    900 DO 910 I=1,MAX 02000090
406 314    DCX(I,3)=0.0 02000100
407 315    910 CONTINUE 02000110
408 316    999 RETURN 02000120
409 C...,  -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
410 317    END 02000130

```

```

411 C -----
412 C I
413 C I      SUBROUTINE NO. 003
414 C I
415 C -----
416 318    SUBROUTINE CECILE 03000010
417 C...,  -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
418 319    COMMON DCL(50,3),TIME(50),ANO(50),SUM(50),EBRC(50,50),C(50,50), 03000020
419          * DCX(50,3),TDIV(50),EDC(50), JB(50),EBRK(50,50),D(50,50), 03000030
420          * NAM(2,50),FLUX(50),KEY(50),AIU(50),FIU(50),IC, ID, IE, RMIN, 03000040
421          * COA,COB,COC,CS,KEYS,MAX,JCALC,TFIN,MAXQ, IX,IY,IZ,RMAX, 03000050
422          * FLUX0,TNOM,IUNT,IB,IW,IV,IVA,IVB,IVC 03000060
423 320    DIMENSION JX(1500) 03000070
424 321    DATA SST / 1.0E-04 /
425 C...,  -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
426 322    IF(MAX,EQ,0) GO TO 999 03000090
427 323    DO 410 I=1,MAX 03000100
428 324    DO 400 J=1,MAX 03000110
429 325    C(I,J)=0.0 03000120
430 326    EBRK(I,J)=0.0 03000130
431 327    400 CONTINUE 03000140
432 328    410 CONTINUE 03000150
433 329    LL=JCALC 03000160
434 330    FLUX0=FLUX(LL) 03000170
435 331    DO 102 I=1,MAX 03000180

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8

```

PAGE 7

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
 436 332      DCX(I,2)=FLUXQ*DCL(I,2)*FIU(IUNT)*COB          03000190
 437 333      DCX(I,1)=DCL(I,1)                                03000200
 438 334      EDC(I)=DCX(I,1)+DCX(I,2)+DCX(I,3)            03000210
 439 335      IF(EDC(I).EQ.0.0) GO TO 102                  03000220
 440 336      DO 95 L=1,3                                    03000230
 441 337      DCX(I,L)=DCX(I,L)/EDC(I)                    03000240
 442 338      95 CONTINUE                                 03000250
 443 339      DO 101 J=1,MAX                            03000260
 444 340      DO 96 L=1,3                                    03000270
 445 341      DL=L                                     03000280
 446 342      IF(D(I,J).NE.DL) GO TO 96                  03000290
 447 343      EBRK(J,J)=EBRC(J,I)*DCX(I,L)            03000300
 448 344      96 CONTINUE                                 03000310
 449 345      101 CONTINUE                                03000320
 450 346      102 CONTINUE                                03000330
 451 C..., -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
 452 347      LLL=0                                     03000340
 453 348      IF(IVA.NE.0) GO TO 140                  03000350
 454 349      KU=MIGNON(MAX)                           03000360
 455 350      IF(KU.LE.0) MAX=0                      03000370
 456 351      IF(MAX.EQ.0) GO TO 999                  03000380
 457 352      KV=MAX-KU                                03000390
 458 353      IF(KV.GT.0) WRITE(6,82) KV,(JB(I),I=KU+1,MAX) 03000400
 459 354      140 DO 300 L=1,MAX                         03000410
 460 355      I=JB(L)                                  03000420
 461 356      ZSUM=0.0                                03000430
 462 357      DO 190 M=1,L-1                         03000440
 463 358      J=JB(M)                                  03000450
 464 359      IF(J.EQ.I) GO TO 190                  03000460
 465 360      SSUM=0.0                                03000470
 466 361      ED=EDC(I)-EDC(J)                      03000480
 467 362      IF(IX.EQ.0) GO TO 150                  03000490
 468 363      YED=ED                               03000500
 469 364      XED=EDC(I)+EDC(J)                      03000510
 470 365      IF(XED.LE.0.0) GO TO 150                03000520
 471 366      XED=YED/XED                           03000530
 472 367      IF(XED.LT.0.0) XED=-XED                03000540
 473 368      IF(XED.LT.SST) WRITE(6,83) I,J        03000550
 474 369      150 IF(ED.EQ.0.0) ED=1.0              03000560
 475 370      DO 160 N=1,L-1                         03000570
 476 371      K=JB(N)                                  03000580
 477 372      IF(C(K,J).EQ.0.0) GO TO 160            03000590
 478 373      IF(IX.EQ.0) GO TO 158                  03000600
 479 374      IF(YED.EQ.0.0.AND.,EBRK(K,I).GT.0.0) WRITE(6,84) K,I 03000610
 480 375      158 SSUM=SSUM+C(K,J)*EDC(K)*EBRK(K,I) 03000620
 481 376      160 CONTINUE                                03000630
 482 377      SSUM=SSUM/ED                            03000640
 483 378      C(I,J)=SSUM                           03000650
 484 379      ZSUM=ZSUM+SSUM                          03000660
 485 380      IF(IX.EQ.0) GO TO 190                  03000670
 486 381      IF(C(I,J).EQ.0.0) GO TO 190            03000680
 487 382      LLL=LLL+1                                03000690
 488 383      JX(LLL)=I*100+J                         03000700
 489 384      190 CONTINUE                                03000710
 490 385      C(I,I)=ANO(I)-ZSUM                     03000720
 491 386      IF(IX.EQ.0) GO TO 300                  03000730
 492 387      IF(C(I,I).EQ.0.0) GO TO 300            03000740
 493 388      LLL=LLL+1                                03000750
 494 389      JX(LLL)=-I*100-I                        03000760
 495 390      300 CONTINUE                                03000770
 496 C..., -----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
 497 391      IF(IX.EQ.0) GO TO 999                  03000780
 498 392      WRITE(6,81) LLL                         03000790
 499 393      IF(LLL.LE.0) GO TO 999                  03000800
 500 394      JSTP=0                                  03000810
 501 395      KSTP=0                                  03000820
 502 396      KN=1                                   03000830
 503 397      405 KMAX=KN+19                         03000840
 504 398      IF(KMAX-LLL) 408,407,406            03000850
 505 399      406 KMAX=LLL                         03000860
 506 400      407 KSTP=1                            03000870
 507 401      408 CONTINUE                                03000880
 508 402      WRITE(6,85) KN,KMAX,(JX(K),K=KN,KMAX) 03000890
 509 403      JSTP=JSTP+1                           03000900
 510 404      IF(JSTP.LT.10) GO TO 409            03000910

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I

```

PAGE 8

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9
511 405      WRITE(6,80)                               03000920
512 406      409 KN=KN+20                           03000930
513 407      IF(KSTP,EQ.0) GO TO 405               03000940
514 408      999 RETURN                           03000950
515 C,...  --1---2---3---4---5---6---7---8
516 409      80 FORMAT(1H)                         03000960
517 410      81 FORMAT(1H0,'EXECUTIVE CALC. PROCESS CALC. STEP = ',I6) 03000970
518 411      82 FORMAT(1H0,10X,'THE FOLLOWING MEMBERS ARE INDEPENDENT OF CHAIN.') 03000980
519      *,/1H ,15X,'NUMBER OF INDEPENDENT MEMBER = ',I2,/1H ,15X, 03000990
520      *'NUCLIDE NO. = ',25I3,/1H ,28X,25I3 03001000
521 412      83 FORMAT(1H0,'***** SIGNIFICANT FIGURES OF DECAY CONSTANT, CROSS SE03001010
522      *CTION AND OTHERS RELATED TO NUCLIDE ('',I2,'') ('',I2,'') ARE ENOUGH 03001020
523      * *****' 03001030
524 413      84 FORMAT(1H0,'***** STRUCTURE OF CHAIN RELATED TO NUCLIDE ('',I2,'') 03001040
525      *('',I2,'') IS SUITABLE ? *****' 03001050
526 414      85 FORMAT(1H0,'('',I4,'',I4,'') ',4(5I5,1X) 03001060
527 C,...  --1---2---3---4---5---6---7---8
528 415      END                                03001070

```

```

529      C
530      C   -----
531      C   I
532      C   SUBROUTINE NO. 004
533      C
534 416      SUBROUTINE ELVIRA                               04000010
535 C,...  --1---2---3---4---5---6---7---8
536 417      COMMON DCL(50,3),TIME(50),ANO(50),SUM(50),EBRC(50,50),C(50,50), 04000020
537      * DCX(50,3),TDIV(50),EDC(50),JB(50),EBRK(50,50),D(50,50), 04000030
538      * NAM(2,50),FLUX(50),KEY(50),AIU(50),FIU(50),IC,1D,IE,RMIN, 04000040
539      * COA,COB,COC,CS,KEYS,MAX,JCALC,TFIN,MAXQ, IX,IY,IZ,RMAX, 04000050
540      * FLUXQ,TNOM,IUNT,IB,IW,IV,IVA,IVB+IVC 04000060
541 418      DIMENSION S(13),AA(135),ANX(50,50),ATIME(50),BB(50) 04000070
542 419      DATA (S(I),I=1,13)/1H1,1H2,1H3,1H4,1H5,1H6,1H7,1H8,1H9,1H0,1H ,1H*04000080
543      1,1H+, M1,M2,M3,M4 / 0,0,0,0 /
544 C,...  --1---2---3---4---5---6---7---8
545 420      TT=0                               04000100
546 421      IF(MAX,EQ.0) GO TO 999               04000110
547 422      CUR=FIU(IUNT)*3.7E+10            04000120
548 423      ICO=IC                           04000130
549 424      LL=JCALC                          04000140
550 425      TTINT=TIME(LL)                   04000150
551 426      TTFIN=TFIN                      04000160
552 427      IF(LL,LT,MAXQ) TTFIN=TIME(LL+1)-TIME(LL) 04000170
553 428      TIMEX=0.0E+00+TDIV(LL)           04000180
554 429      IVV=0                               04000190
555 430      IF(IVV,NE.0.AND,LL,LT,MAXQ) IVV=1 04000200
556 431      130 JSTP=0                           04000210
557 432      IF(IVV,EQ.0) GO TO 135             04000220
558 433      JSTP=1                           04000230
559 434      TIMEX=TTFIN                      04000240
560 435      WRITE(6,29) LL                  04000250
561 436      135 LSTP=0                           04000260
562 437      IF(IC,LE.0) LSTP=1              04000270
563 438      160 N=0                           04000280
564 C,...  --1---2---3---4---5---6---7---8
565 439      165 N=N+1                           04000290
566 440      IF(N,GT,50) GO TO 900             04000300
567 441      DO 380 I=1,MAX                  04000310
568 442      TT=-EDC(I)*TIMEX*1.0E+00        04000320
569 443      BB(I)=EXP(TT)                   04000330
570 444      380 CONTINUE                     04000340
571 445      DO 450 K=1,MAX                  04000350
572 446      AN=0.0                           04000360
573 447      IF(TIMEX,EQ.0.0) GO TO 455       04000370
574 448      DO 400 J=1,MAX                  04000380
575 449      IF(C(K,J),EQ.0.0) GO TO 400       04000390
576 450      AN=AN+C(K,J)*BB(J)           04000400
577 451      400 CONTINUE                     04000410
578 452      455 IF(TIMEX,EQ.0.0) AN=ANO(K) 04000420
579 453      IF(AN,LT,0.0) AN=0.0             04000430
580 454      IF(JSTP,EQ,1) ANO(K)=AN         04000440

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9

```

PAGE 9

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9

581 455      ANX(K,N)=AN                                04000450
582 456      450 CONTINUE                               04000460
583 457      TIMEY=TIMEX+TTINT                         04000470
584 458      ATIME(N)=TIMEY                           04000480
585 459      IF(JSTP,NE,0) GO TO 901                   04000490
586 460      TIMEX=TIMEX+TDIV(LL)                     04000500
587 461      IF(TIMEX-TTFIN) 165,470,460              04000510
588 462      460 TIMEX=TTFIN                         04000520
589 463      470 JSTP=1                                04000530
590 464      GO TO 165                                04000540
591 465      900 N=N-1                                04000550
592 466      901 CONTINUE                            04000560
593 C... 1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
594 C          C                                     IC ----- IZ -----
595 C
596 467      150 IF(IVV,NE,0) GO TO 999               04000570
597 468      KSTP=0                                 04000580
598 469      COK=COC                                04000590
599 470      IF(IC,NE,0) GO TO 145                   04000600
600 471      IF(IZ,EQ,0) COK=COK/CUR                04000610
601 472      145 SMAX=0.0                            04000620
602 473      SMIN=1.0E50                            04000630
603 474      PMIN=1.0E50                            04000640
604 475      KN=1                                  04000650
605 476      155 KMAX=KN+9                          04000660
606 477      IF(KMAX-MAX) 158,157,156              04000670
607 478      156 KMAX=MAX                           04000680
608 479      157 KSTP=1                            04000690
609 480      158 WRITE(6,2)                           04000700
610 481      WRITE(6,1)                            04000710
611 482      IF(IC,NE,0) WRITE(6,40)                 04000720
612 483      IF(IC,EQ,0) WRITE(6,41)                 04000730
613 484      IF(CIZ,EQ,0,AND,IC,EQ,0) WRITE(6,44)    04000740
614 485      WRITE(6,42) LL                           04000750
615 486      WRITE(6,1)                            04000760
616 487      WRITE(6,30) (K,K=KN,KMAX)             04000770
617 488      WRITE(6,31) (NAM(1,K),NAM(2,K),K=KN,KMAX) 04000780
618 489      WRITE(6,1)                            04000790
619 490      DO 902 NN=1,N                           04000800
620 491      DO 473 J=KN,KMAX                      04000810
621 492      AN=ANX(J,NN)                         04000820
622 493      IF(ANX(J,NN-1),EQ,0.0,AND,ANX(J,NN+1),EQ,0.0) AN=0.0 04000830
623 494      IF(AN,EQ,0.0) GO TO 472                04000840
624 495      IF(IC,EQ,0) AN=AN*DCL(J,1)*TNOM        04000850
625 496      IF(CIZ,EQ,0,AND,IC,EQ,0) AN=AN/CUR     04000860
626 497      IF(AN,LT,SMIN) SMIN=AN                  04000870
627 498      IF(AN,LT,PMIN,AND,AN,GT,COK) PMIN=AN    04000880
628 499      472 IF(AN,GT,SMAX) SMAX=AN            04000890
629 500      ANX(J,NN)=AN                         04000900
630 501      473 CONTINUE                           04000910
631 C          ----- 1Y ----- 04000920
632 502      IF(IY,EQ,0) GO TO 910                  04000930
633 503      TIMEY=ATIME(NN)                         04000940
634 504      CALL SANDRA(TIMEY,IUNT,M1,M2,M3,M4,1) 04000950
635 505      IF(M1,GT,999) M1=M1-1/1000*1000       04000960
636 506      WRITE(6,45) M1,M2,M3,M4,(ANX(K,NN),K=KN,KMAX) 04000970
637 507      GO TO 902                                04000980
638 508      910 WRITE(6,32) ATIME(NN),(ANX(K,NN),K=KN,KMAX) 04000990
639 509      902 CONTINUE                            04001000
640 510      475 KN=KN+10                            04001010
641 511      WRITE(6,1)                            04001020
642 512      IF(KSTP,EQ,0) GO TO 155                04001030
643 C... 1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
644 C          ----- ID ----- 04001040
645 513      IF(ID,EQ,0) GO TO 690                04001050
646 514      IF(SMAX,EQ,SMIN) GO TO 690           04001060
647 515      BAR=100.0                            04001070
648 516      IF(IX,EQ,0) BAR=115                  04001080
649 517      WRITE(6,1)                            04001090
650 518      WRITE(6,33) SMIN,SMAX                04001100
651 519      IF(SMAX,EQ,0.0) GO TO 690           04001110
652 520      WRITE(6,1)                            04001120
653 521      IF(IC,NE,0) GO TO 476                04001130
654 522      IF(SMIN,LE,COK) SMIN=COK           04001140
655 523      IF(IC,EQ,0) SMIN=SMIN*TNOM         04001150

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9

```

PAGE 10

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----1

656 524      476 IF(N.GT.20) WRITE(6,2)                                04001140
657 525      WRITE(6,1)                                         04001150
658 526      IF(RMIN.NE.0.0) SMIN=RMIN                           04001160
659 527      IF(RMAX.NE.0.0) SMAX=RMAX                           04001170
660 528      SMIN=PMIN                                         04001180
661 529      IF(SMIN.EQ.1.0E+50) GO TO 690                         04001190
662 530      WRITE(6,33) SMIN,SMAX                           04001200
663 531      IF(SMIN.EQ.0.0) GO TO 690                         04001210
664 532      500 QMAX=ALOG10(SMAX)                            04001220
665 533      QMIN=ALOG10(SMIN)                            04001230
666 534      IF(IX.NE.0) WRITE(6,34) QMIN,QMAX               04001240
667 535      QMAX=QMAX-QMIN                                         04001250
668 536      QDIV=QMAX/BAR                                         04001260
669 537      IF(IX.NE.0) WRITE(6,28) QDIV                         04001270
670 538      580 CONTINUE                                         04001280
671 539      WRITE(6,3)                                         04001290
672 540      KSTP=0                                           04001300
673 541      KN=1                                             04001310
674 542      585 KMAX=KN+9                                         04001320
675 543      IF(KMAX-MAX) 588,587,586                         04001330
676 544      KMAX=MAX                                         04001340
677 545      587 KSTP=1                                         04001350
678 546      588 WRITE(6,30) (K,K=KN,KMAX)                   04001360
679 547      WRITE(6,31) (NAM(1,K),NAM(2,K),K=KN,KMAX)       04001370
680 548      WRITE(6,1)                                         04001380
681 549      KN=KN+10                                         04001390
682 550      IF(KSTP.EQ.0) GO TO 585                         04001400
683 C,...  ----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----1
684 551      JSUM=0                                           04001410
685 552      589 DO 680 NN=1,N                               04001420
686 553      DO 590 I=1,120                           04001430
687 554      AA(I)=1H                                         04001440
688 555      590 CONTINUE                                         04001450
689 556      TIMEY=ATIME(NN)                            04001460
690 557      KSUM=0                                         04001470
691 558      DO 650 I=1,MAX                           04001480
692 559      IF(KEY(I).EQ.9) GO TO 645                         04001490
693 560      IF(ANX(I,NN).LT.SMIN) GO TO 645               04001500
694 561      SZ=ANX(I,NN)                                         04001510
695 562      SZ=ALOG10(SZ)                                         04001520
696 563      IZZ=BAR*(SZ-QMIN)/QMAX+0.5                  04001530
697 564      AA(IZZ)=S(12)                                         04001540
698 565      KI=I/10                                         04001550
699 566      IF(AA(IZZ+1).EQ.S(12)) GO TO 610               04001560
700 567      IF(KI.EQ.0) KI=10                           04001570
701 568      AA(IZZ+1)=S(KI)                                         04001580
702 569      IF(KI.EQ.10) KI=0                           04001590
703 570      610 IF(AA(IZZ+2).EQ.S(12)) GO TO 611               04001600
704 571      KI=I-KI*10                                         04001610
705 572      IF(KI.EQ.0) KI=10                           04001620
706 573      AA(IZZ+2)=S(KI)                                         04001630
707 574      611 CONTINUE                                         04001640
708 575      GO TO 650                                         04001650
709 576      645 KSUM=KSUM+1                           04001660
710 577      650 CONTINUE                                         04001670
711 578      IF(KSUM.EQ.MAX) JSUM=JSUM+1               04001680
712 579      IF(JSUM.GE.6) GO TO 690                         04001690
713 C,...  -----IY-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----1
714 580      IF(IX.EQ.0) GO TO 670                         04001700
715 581      TIMEX=TIMEY-TTINT                           04001710
716 582      WRITE(6,35) TIMEY,(AA(I),I=1,105)           04001720
717 583      WRITE(6,39) TIMEX                           04001730
718 584      GO TO 680                                         04001740
719 585      670 IF(IY.EQ.0) GO TO 675                         04001750
720 586      CALL SANDRA(TIMEY,IUNT,M1,M2,M3,M4,1)        04001760
721 587      IF(M1.GT.999) M1=M1-M1/1000*1000             04001770
722 588      WRITE(6,46) M1,M2,M3,M4,(AA(I),I=1,120)       04001780
723 589      GO TO 680                                         04001790
724 590      675 WRITE(6,27) TIMEY,(AA(I),I=1,120)           04001800
725 591      680 CONTINUE                                         04001810
726 C,...  ----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----1
727 592      690 IF(IC.LE.0) GO TO 750                         04001820
728 593      WRITE(6,1)                                         04001830
729 594      IC=0                                           04001840
730 595      GO TO 150                                         04001850
-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----1

```

PAGE 11

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8

731 596    750 WRITE(6,3)                                04001860
732 597    IC=1CO                                     04001870
733 598    IF(JSTP.EQ.0) GO TO 160                      04001880
734 599    IF(NN.GE.50) GO TO 160                      04001890
735 C..., ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
736 C
737 600    IF(IE,EQ.0) GO TO 999                      04001900
738 601    JSTP=0                                     04001910
739 602    760 DO 850 L=1,MAX                         04001920
740 603    I=JB(L)                                    04001930
741 604    TTDIV=(TTFIN-TTINT)/10.0                  04001940
742 605    TT=0.0                                     04001950
743 606    TT=TT*1.0E+00                            04001960
744 607    SNI=0.0                                    04001970
745 608    ISTP=0                                     04001980
746 609    770 CONTINUE                               04001990
747 610    DNI=0.0                                    04002000
748 611    DO 780 M=1,L                             04002010
749 612    J=JB(M)                                    04002020
750 613    TZ=-EDC(J)*TT*1.0E+00                  04002030
751 614    DNI=DNI-EDC(J)*C(I,J)*EXP(TZ)          04002040
752 615    780 CONTINUE                               04002050
753 616    IF(CISTP,EQ.0) SNI=DNI                   04002060
754 617    IF(TT.GE.TTFIN) GO TO 845                 04002070
755 618    IF(CISTP,GE.1,AND.SNI.GT.0.0,AND,DNI.EQ.0.0) GO TO 830 04002080
756 619    IF(CISTP,GE.1,AND.SNI.GT.0.0,AND,DNI.LT.0.0) GO TO 800 04002090
757 620    IF(CISTP,GE.10) GO TO 840                 04002100
758 621    ISTP=ISTP+1                           04002110
759 622    GO TO 810                                04002120
760 623    800 TT=TT-TTDIV                         04002130
761 624    TTDIV=TTDIV/10.0                        04002140
762 625    ISTP=1                                   04002150
763 626    SST=TT/CS                                04002160
764 627    IF(TTDIV.LT,SST) GO TO 830              04002170
765 628    810 TT=TT+TTDIV                         04002180
766 629    820 GO TO 770                            04002190
767 630    830 TY=TT+TTINT                          04002200
768 631    WRITE(6,36) I,TY                         04002210
769 632    FNI=0.0                                  04002220
770 633    DO 835 M=1,L                           04002230
771 634    J=JB(M)                                    04002240
772 635    TZ=-EDC(J)*TT*1.0E+00                  04002250
773 636    FNI=FNI+C(I,J)*EXP(TZ)                04002260
774 637    835 CONTINUE                               04002270
775 638    WRITE(6,37) FNI                         04002280
776 639    FNI=FNI*DCL(I,1)*TNOM                  04002290
777 640    IF(IL.EQ.0) FNI=FNI/CUR                04002300
778 641    WRITE(6,38) FNI                         04002310
779 642    GO TO 850                                04002320
780 643    840 JSTP=1                           04002330
781 644    IF(IX.LE.-5) WRITE(6,43) SNI,DNI,JSTP,ISTP 04002340
782 645    850 CONTINUE                               04002350
783 646    WRITE(6,1)                                04002360
784 C..., ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
785 647    WRITE(6,4)                                04002370
786 648    WRITE(6,1)                                04002380
787 649    WRITE(6,50)                               04002390
788 650    WRITE(6,1)                                04002400
789 651    DO 250 L=1,MAX                         04002410
790 652    I=JB(L)                                    04002420
791 653    WRITE(6,51) NAM(1,I),NAM(2,I),!          04002430
792 654    MMM=0                                     04002440
793 655    DO 240 M=1,L                           04002450
794 656    J=JB(M)                                    04002460
795 657    IF(C(I,J)) 210,240,220                04002470
796 658    210 CTAB=-C(I,J)                         04002480
797 659    IF(EDC(J).EQ.0) GO TO 215                 04002490
798 660    WRITE(6,52) CTAB+EDC(J)                  04002500
799 661    MMM=MMM+1                                04002510
800 662    GO TO 240                                04002520
801 663    215 WRITE(6,54) CTAB                     04002530
802 664    MMM=MMM+1                                04002540
803 665    GO TO 240                                04002550
804 666    220 CTAB=C(I,J)                         04002560
805 667    IF(EDC(J).EQ.0.0) GO TO 225             04002570

```

PAGE 12

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
806 668      WRITE(6,53) CTAB,EDC(J)                      04002580
807 669      MMM=MMM+1                                     04002590
808 670      GO TO 240                                    04002600
809 671      225 WRITE(6,55) CTAB                         04002610
810 672      MMM=MMM+1                                     04002620
811 673      240 CONTINUE                                04002630
812 674      IF(MMM.LE.0) WRITE(6,57)                   04002640
813 675      IF(DCL(I,1).EQ.0.0) GO TO 245            04002650
814 676      WRITE(6,5)                                 04002660
815 677      DCL0=DCL(I,1)*TNOM/CUR                     04002670
816 678      WRITE(6,56) I,DCL0,I                      04002680
817 679      245 WRITE(6,5)                           04002690
818 680      250 CONTINUE                                04002700
819 681      999 RETURN                                  04002710
820 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
821 682      1 FORMAT(1H ,135(1H-))                    04002720
822 683      2 FORMAT(1H1)                            04002730
823 684      3 FORMAT(1H ,13(1H+,9(1H-)),5(1H-))    04002740
824 685      4 FORMAT(// )                          04002750
825 686      5 FORMAT(1H)                           04002760
826 687      27 FORMAT(1H ,1PE12.5,1HI,120A1,1HI)  04002770
827 688      28 FORMAT(1H+,55X,'LOG(DIV)= ',1PE12.5) 04002780
828 689      29 FORMAT(1H ,10X,'OUTPUT FOR TIME STEP(' ,I2,') WAS SKIPPED. 04002790
829 690      30 FORMAT(1H , 'NUCLIDE NO.',4X,10(14,8X)) 04002800
830 691      31 FORMAT(1H , 'NUCLIDE NAME',10(4X,2A4)) 04002810
831 692      32 FORMAT(1H ,11(1PE12.5))                04002820
832 693      33 FORMAT(1H , ' MIN = ',1PE12.5,10X,' MAX = ',E12.5) 04002830
833 694      34 FORMAT(1H , 'LOG(MIN)= ',1PE12.5,10X,'LOG(MAX)= ',E12.5) 04002840
834 695      35 FORMAT(1H ,1PE12.5,10A1,1HI)          04002850
835 696      36 FORMAT(1H ,10X,'*NUCL(' ,I2,') IS MAX. AT T=' ,1PE12.5) 04002860
836 697      37 FORMAT(1H+,60X,'MAX NI = ',1PE12.5) 04002870
837 698      38 FORMAT(1H+,90X,'MAX AC = ',1PE12.5) 04002880
838 699      39 FORMAT(1H+,120X,'(',1PE12.5,')') 04002890
839 700      40 FORMAT(1H , ' TIME',8X,'NUMBER OF ATOMS' 04002900
840 701      41 FORMAT(1H , ' TIME',8X,'ACTIVITY' 04002910
841 702      42 FORMAT(1H+,1HI,40X,'RESULTS',70X,'STEP',I4,8X,1HI 04002920
842 703      43 FORMAT(1H ,15X,' SNI=',1PE12.5,10X,'JSTP,ISTH=',204002930
843      1(I2,2X))                                04002940
844 704      44 FORMAT(1H+,75X,'ACTIVITY UNIT = ((CURIE) X (NORM.FACTOR))') 04002950
845 705      45 FORMAT(1H ,I3,'D',I2,'H',I2,'M',I2,'S',1P10E12.5 04002960
846 706      46 FORMAT(1H ,I3,'D',I2,'H',I2,'M',I2,'S',120A1,1HI 04002970
847 707      50 FORMAT(1H ,1H*,10X,'LIST OF USED EQUATION      ,94X,1H*) 04002980
848 708      51 FORMAT(1H ,5X,5(1H=),3X,2A4,3X,5(1H=),5X,'NUCL(' ,I4,') =' ) 04002990
849 709      52 FORMAT(1H ,47X,'- (' ,1PE12.5,') X EXP( - (' ,E12.5,') X TIME )') 04003000
850 710      53 FORMAT(1H ,47X,'+ (' ,1PE12.5,') X EXP( - (' ,E12.5,') X TIME )') 04003010
851 711      54 FORMAT(1H ,47X,'- (' ,1PE12.5,')') 04003020
852 712      55 FORMAT(1H ,47X,'+ (' ,1PE12.5,')') 04003030
853 713      56 FORMAT(1H ,30X,'ACTIVITY(' ,I4,') = (' ,1PE12.5,') X NUCL(' ,I4,')' 04003040
854      *)                                         04003050
855 714      57 FORMAT(1H+,51X,'0.0' 04003060
C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
856 715      END                                     04003070

```

```

858      C -----
859      C I
860      C I           SUBROUTINE NO. 005
861      C I
862      C -----
863 716      SUBROUTINE KITTY(LX,DX,LY,LZ)          050000010
864      C NOTE -----
865      C I
866      C I           *A = SYMBOL IN SUBROUTINE NO. 1
867      C I           *B = SYMBOL AS DUMMY ARGUMENT
868      C I           *C = SYMBOL IN SUBROUTINE NO. 5
869      C I
870      C I           *A           *B           *C           REM.
871      C I           -----           -----           -----           -----
872      C I
873      C I           LW           * I           *1           I
874      C I           J             *2           I
875      C I           L             *3           I
-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I

```

PAGE 13

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1

876 C I MAX = LY = MAK(I) *4 I
877 C I NAM(1,J) = LY = NAMZ(J,1,I) I
878 C I NAM(2,J) = LZ = NAMZ(J,2,I) I
879 C I LMAX = LX = LLB(L,1,I) *5 I
880 C I II = LX = LLB(L,1,I) *6 I
881 C I DCSQ = DX = DBL(L,I) I
882 C I IU = LY = LLB(L,2,I) *7 I
883 C I JMAX = LZ = LLB(L,3,I) *8 I
884 C I JJ = LX = LLB(L,1,I) *6 I
885 C I BRCQ = DX = DBL(L,I) I
886 C I
887 C I *1 = INDEX OF CHAIN IN LIBRARY I
888 C I ( MAXIMUM OF 'I' = 50 ) I
889 C I *2 ( MAXIMUM OF 'J' = 20 ) I
890 C I *3 = TIME CALLED WHEN 'LX' IS NOT NEGATIVE VALUE I
891 C I ( MAXIMUM OF 'L' = 50 ) I
892 C I *4 ( 1 -- 20 ) I
893 C I *5 ( 1 -- 49 ) I
894 C I *6 ( 1 -- MAX ) I
895 C I *7 ( -5 -- +5, .NE.0 ) I
896 C I *8 ( 0 -- 47 ) I
897 C I
898 C
999 717 COMMON /BLK/ MAK(50),NAMZ(20,2,50),LLB(50,3,50),DLB(50,50) 05000020
900 718 DATA KK,MAX / 01,20 / 05000030
901 719 DATA IX / 0 / 05000040
902 C... ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
903 720 IF(IX.NE.0) WRITE(6,97) LX,DX,LY,LZ 05000050
904 721 IF(LX.EQ.-1) GO TO 700 05000060
905 722 IF(LX.EQ.-2) GO TO 800 05000070
906 723 IF(LX.LE.-3) GO TO 900 05000080
907 724 LLL=LLL+1 05000090
908 725 IF(LLL.GT.50) LLL=50 05000100
909 726 LX=LLB(LLL,1,KK) 05000110
910 727 LY=LLB(LLL,2,KK) 05000120
911 728 LZ=LLB(LLL,3,KK) 05000130
912 729 DX=DBL(LLL,KK) 05000140
913 730 GO TO 900 05000150
914 731 700 IF(LY.LE.0,OR,LY.GT.MAX) LY=1 05000160
915 732 LX=-1 05000170
916 733 LZ=LY 05000180
917 734 KK=LY 05000190
918 735 LY=MAK(LY) 05000200
919 736 NNN=0 05000210
920 737 LLL=0 05000220
921 738 IF(LY.LE.0) WRITE(6,90) 05000230
922 739 GO TO 900 05000240
923 740 800 NNN=NNN+1 05000250
924 741 IF(NNN.GT.20) NNN=20 05000260
925 742 LX=-2 05000270
926 743 LY=NAMZ(NNN,1,KK) 05000280
927 744 LZ=NAMZ(NNN,2,KK) 05000290
928 745 900 CONTINUE 05000300
929 746 IF(IX.EQ.0) GO TO 990 05000310
930 747 IF(LX.NE.-2) WRITE(6,98) LX,DX,LY,LZ,NNN,LLL,KK 05000320
931 748 IF(LX.EQ.-2) WRITE(6,99) LX,DX,LY,LZ,NNN,LLL,KK 05000330
932 749 990 RETURN 05000340
933 C... ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
934 750 97 FORMAT(1H0,50X,I4,1PE12.5, 1014 )05000350
935 751 98 FORMAT(1H ,50X,I4,1PE12.5, 1014 )05000360
936 752 99 FORMAT(1H ,50X,I4,1PE12.5,2A4, 814 )05000370
937 753 90 FORMAT(1H0,' ***** LIBRARY IS NOT PREPARED, ***** ')05000380
938 C... ---1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
939 754 END 05000390

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1

940 C
941 C I
942 C I SUBROUTINE NO. 006 I
943 C I
944 C
945 755 SUBROUTINE HELENE 06000010

```

PAGE 14

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1
946    C..., --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
947    756    COMMON DCL(50,3),TIME(50),ANO(50),SUM(50),EBRC(50,50),C(50,50), 06000020
948      * DCX(50,3),TDIV(50),EDC(50),JB(50),EBRK(50,50),DC(50,50), 06000030
949      * NAM(2,50),FLUX(50),KEY(50),AIU(50),FIU(50),IC, ID, IE, RMIN, 06000040
950      * COA, COB, COC, CS, KEYS, MAX, JCALC, TFIN, MAXQ, IX, IY, IZ, RMAX, 06000050
951      * FLUXQ, TNOM, IUNT, IB, IW, IV, IVA, IVB, IVC 06000060
952    C..., --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
953    757    LLL=0 06000070
954    758    KSTP=0 06000080
955    759    KN=1 06000090
956    760    105 KMAX=KN+9 06000100
957    761    IF(KMAX-MAX) 108,107,106 06000110
958    762    106 KMAX=MAX 06000120
959    763    107 KSTP=1 06000130
960    764    108 CONTINUE 06000140
961    765    WRITE(6,1) 06000150
962    766    WRITE(6,2) 06000160
963    767    LLL=LLL+1 06000170
964    768    WRITE(6,21) LLL 06000180
965    769    WRITE(6,2) 06000190
966    770    WRITE(6,10) (K, K=KN,KMAX) 06000200
967    771    DO 110 I=1,3 06000210
968    772    WRITE(6,11) I,(DCL(K,I), K=KN,KMAX) 06000220
969    773    WRITE(6,12) I,(DCX(K,I), K=KN,KMAX) 06000230
970    774    110 CONTINUE 06000240
971    775    WRITE(6,2) 06000250
972    776    WRITE(6,13) (EDC(K), K=KN,KMAX) 06000260
973    777    WRITE(6,14) (ANO(K), K=KN,KMAX) 06000270
974    778    WRITE(6,15) (KEY(K), K=KN,KMAX) 06000280
975    779    WRITE(6,16) (JB(K), K=KN,KMAX) 06000290
976    780    WRITE(6,2) 06000300
977    781    WRITE(6,10) (K, K=KN,KMAX) 06000310
978    782    DO 120 I=1,MAX 06000320
979    783    WRITE(6,17) I,(DCK,I), K=KN,KMAX) 06000330
980    784    120 CONTINUE 06000340
981    785    WRITE(6,2) 06000350
982    786    WRITE(6,10) (K, K=KN,KMAX) 06000360
983    787    DO 130 I=1,MAX 06000370
984    788    WRITE(6,18) I,(C(K,I), K=KN,KMAX) 06000380
985    789    130 CONTINUE 06000390
986    790    WRITE(6,2) 06000400
987    791    WRITE(6,2) 06000410
988    792    WRITE(6,10) (K, K=KN,KMAX) 06000420
989    793    DO 140 I=1,MAX 06000430
990    794    WRITE(6,19) I,(EBRC(I,K), K=KN,KMAX) 06000440
991    795    140 CONTINUE 06000450
992    796    WRITE(6,2) 06000460
993    797    WRITE(6,10) (K, K=KN,KMAX) 06000470
994    798    DO 150 I=1,MAX 06000480
995    799    WRITE(6,20) I,(EBRK(K,I), K=KN,KMAX) 06000490
996    800    150 CONTINUE 06000500
997    801    WRITE(6,2) 06000510
998    802    WRITE(6,10) (K, K=KN,KMAX) 06000520
999    803    KN=KN+10 06000530
1000   804    IF(KSTP,EQ.0) GO TO 105 06000540
1001   805    WRITE(6,2) 06000550
1002   806    WRITE(6,22) 06000560
1003   807    RETURN 06000570
1004    C..., --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
1005   808    1 FORMAT(1H1) 06000580
1006   809    2 FORMAT(1H
1007   810    10 FORMAT(1H , 'K ', 10(1X,2H--,13.1X,3H--),3H --) 06000600
1008   811    11 FORMAT(1H , 'DCL ', 12,2X,1P10E10.3) 06000610
1009   812    12 FORMAT(1H , 'DCX ', 12,2X,1P10E10.3) 06000620
1010   813    13 FORMAT(1H , 'EDC ', 1P10E10.3) 06000630
1011   814    14 FORMAT(1H , 'ANO ', 1P10E10.3) 06000640
1012   815    15 FORMAT(1H , 'KEY ', 10(6X,I4)) 06000650
1013   816    16 FORMAT(1H , 'JB ', 10(6X,I4)) 06000660
1014   817    17 FORMAT(1H , 'D ', 12,2X,10(F3.0,7X)) 06000670
1015   818    18 FORMAT(1H , 'C ', 12,2X,1P10E10.3) 06000680
1016   819    19 FORMAT(1H , 'EBRC ', 12,2X,1P10E10.3) 06000690
1017   820    20 FORMAT(1H , 'EBRK ', 12,2X,1P10E10.3) 06000700
1018   821    21 FORMAT(1H , 'INTERIM PARAMETER LIST PAGE = ',14) 06000710
1019   822    22 FORMAT(1H , '***** END OF LIST *****' 06000720
1020   823    END 06000730

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1

```

PAGE 15

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
1021 C -----
1022 C I
1023 C I
1024 C I
1025 C -----
1026 824 SUBROUTINE SANDRA(TT,IUNT,N1,N2,N3,N4,IX) 07000010
1027 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
1028 825 DIMENSION AIU(5) 07000020
1029 826 DATA (AIU(I),I=1,5)/1.0,60.0,3600.0,8.64E+04,3.1557082E+07/ 07000030
1030 827 DATA TLIM / 8.64E+07 / 07000040
1031 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
1032 828 IF(IX.NE.0) GO TO 120 07000050
1033 829 IF(N1.LT.0) N1=1000-N1 07000060
1034 830 TT=(FLOAT(N1)*AIU(4)+FLOAT(N2)*AIU(3)+FLOAT(N2)*AIU(2)+FLOAT(N4)) 07000070
1035 * /AIU(IUNT) 07000080
1036 831 GO TO 900 07000090
1037 832 120 CONTINUE 07000100
1038 833 TT=TT*AIU(IUNT) 07000110
1039 834 210 IF(TT.LT.TLIM) GO TO 220 07000120
1040 835 TT=TT-TLIM 07000130
1041 836 GO TO 210 07000140
1042 837 220 N1=TT/AIU(4) 07000150
1043 838 N2=TT/AIU(3) 07000160
1044 839 N3=TT/AIU(2) 07000170
1045 840 N4=TT 07000180
1046 841 N4=N4-N3*60 07000190
1047 842 N3=N3-N2*60 07000200
1048 843 N2=N2-N1*24 07000210
1049 844 900 RETURN 07000220
1050 C ----- WRITER'S NOTE -----
1051 C I
1052 C I KIND(1) DECAY CONSTANT, BRANCHING RATIO I
1053 C I KIND(2) CROSS SECTION, FISSION YIELD I
1054 C I KIND(3) DEPENDED ON USER'S DEFINITION I
1055 C I ( DCL(I,3)=? ( DCX(I,3)=? ), EBRC(J,1)=?, I
1056 C I D(I,J)=? ) I
1057 C I
1058 C I IB = CALC. PROCESS IW = CONTINUATION I
1059 C I IC = ATOM NUMBER IX = CHECK I
1060 C I ID = GRAPH IY = DATE I
1061 C I IE = EQUATION IZ = CURIE I
1062 C I
1063 C -----
1064 845 END 07000230

```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
1065 C -----
1066 C I
1067 C I
1068 C I
1069 C -----
1070 846 FUNCTION MIGNON(MAX) 08000010
1071 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
1072 847 COMMON DCL(50,3),TIME(50),ANO(50),SUM(50),EBRK(50,50),C(50,50), 08000020
1073 * DCX(50,3),TDIV(50),EDC(50),JB(50),EBRK(50,50),D(50,50), 08000030
1074 * NAM(2,50),FLUX(50),KEY(50),AIU(50),FIU(50),IC,1D,IE,RMIN, 08000040
1075 * COA,COB,COG,CS,KEYS,MAY,JCALC,TFIN,MAXQ, IX,IY,IZ,RMAX, 08000050
1076 * FLUX0,TNOM,IUNT,IB,IW,IV,IVA,IVB,IVC 08000060
1077 848 DIMENSION JA(50,50),JC(50),JD(50) 08000070
1078 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I
1079 849 DO 205 II=1,MAX 08000080
1080 850 JD(II)=0 08000090
1081 851 JC(II)=0 08000100
1082 852 205 CONTINUE 08000110
1083 853 DO 220 II=1,MAX 08000120
1084 854 JB(II)=0 08000130
1085 855 DO 210 JJ=1,MAX 08000140
1086 856 KU=1 08000150
1087 857 IF(EBRK(II,JJ).EQ.0.0) KU=0 08000160
1088 858 JA(JJ,II)=KU 08000170
1089 859 IF(KU.EQ.0) GO TO 210 08000180
1090 860 IF(JC(II).EQ.0) JC(II)=1 08000190
-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8   I

```

PAGE 16

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1
1091 861      IF(JC(JJ),EQ.0) JC(JJ)=1                      08000200
1092 862      210 CONTINUE                                     08000210
1093 863      220 CONTINUE                                     08000220
1094 864      KSTP=MAX+1                                    08000230
1095 865      DO 225 II=1,MAX                                08000240
1096 866      IF(JC(II),NE,0) GO TO 225                   08000250
1097 867      KSTP=KSTP-1                                  08000260
1098 868      JB(KSTP)=II                                 08000270
1099 869      JD(KSTP)=-1                               08000280
1100 870      225 CONTINUE                                     08000290
1101 871      IF(KSTP,LE,1) GO TO 950                   08000300
1102 872      MAXL=KSTP                                 08000310
1103 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
1104 873      DO 260 II=1,MAX                                08000320
1105 874      KSTP=0                                       08000330
1106 875      DO 250 JJ=1,MAX                                08000340
1107 876      IF(JC(JJ),EQ.0) GO TO 250                   08000350
1108 877      DO 240 KK=1,MAX                                08000360
1109 878      IF(JA(JJ,KK),EQ.0) GO TO 240                   08000370
1110 879      DO 230 LL=1,MAX                                08000380
1111 880      IF(JA(JJ,LL),NE,0,OR,JA(KK,LL),NE,0) KSTP=KSTP+1 08000390
1112 881      JA(JJ,LL)=JA(JJ,LL)+JA(KK,LL)                08000400
1113 882      IF(JA(JJ,LL),GT,99) JA(JJ,LL)=10            08000410
1114 883      IF(KSTP,GT,99) KSTP=10                      08000420
1115 884      230 CONTINUE                                     08000430
1116 885      240 CONTINUE                                     08000440
1117 886      250 CONTINUE                                     08000450
1118 887      IF(KSTP,EQ.0) GO TO 270                   08000460
1119 888      260 CONTINUE                                     08000470
1120 889      270 KSTP=0                                     08000480
1121 890      DO 280 II=1,MAX                                08000490
1122 891      DO 275 JJ=1,II                                08000500
1123 892      IF(JA(II,JJ),EQ.0,OR,JA(JJ,II),EQ.0) GO TO 275 08000510
1124 893      WRITE(6,98) II                                08000520
1125 894      KSTP=KSTP+1                                08000530
1126 895      275 CONTINUE                                     08000540
1127 896      280 CONTINUE                                     08000550
1128 897      IF(KSTP,NE,0) GO TO 950                   08000560
1129 898      JSTP=0                                       08000570
1130 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
1131 899      DO 330 II=1,MAX                                08000580
1132 900      LSTP=0                                       08000590
1133 901      DO 300 JJ=1,MAX                                08000600
1134 902      KSTP=0                                       08000610
1135 903      IF(JC(JJ),EQ.0) GO TO 300                   08000620
1136 904      DO 290 KK=1,MAX                                08000630
1137 905      IF(JA(JJ,KK),EQ.0) GO TO 290                   08000640
1138 906      KSTP=KSTP+1                                08000650
1139 907      IF(KSTP,GT,99) KSTP=10                      08000660
1140 908      290 CONTINUE                                     08000670
1141 909      IF(KSTP,NE,0) GO TO 300                   08000680
1142 910      JSTP=JSTP+1                                08000690
1143 911      LSTP=LSTP+1                                08000700
1144 912      JC(JJ)=0                                     08000710
1145 913      JB(JSTP)=JJ                                08000720
1146 914      JD(JSTP)=II                                08000730
1147 915      300 CONTINUE                                     08000740
1148 916      IF(LSTP,LE,0) GO TO 400                   08000750
1149 917      JINT=JSTP-LSTP+1                            08000760
1150 918      DO 320 JJ=JINT,JSTP                         08000770
1151 919      LL=JB(JJ)                                 08000780
1152 920      IF(LL,LE,0) GO TO 320                   08000790
1153 921      DO 310 KK=1,MAX                                08000800
1154 922      JA(KK,LL)=0                                08000810
1155 923      310 CONTINUE                                     08000820
1156 924      320 CONTINUE                                     08000830
1157 925      330 CONTINUE                                     08000840
1158 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
1159 C.... --1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8
1160 926      400 IF(IB,LE,0) GO TO 340                   08000850
1161 927      WRITE(6,50)                                08000860
1162 928      KSTP=0                                       08000870
1163 929      KN=1                                       08000880
1164 930      405 KMAX=KN+29                            08000890
1165 931      IF(KMAX-MAY) 408,407,406                08000900

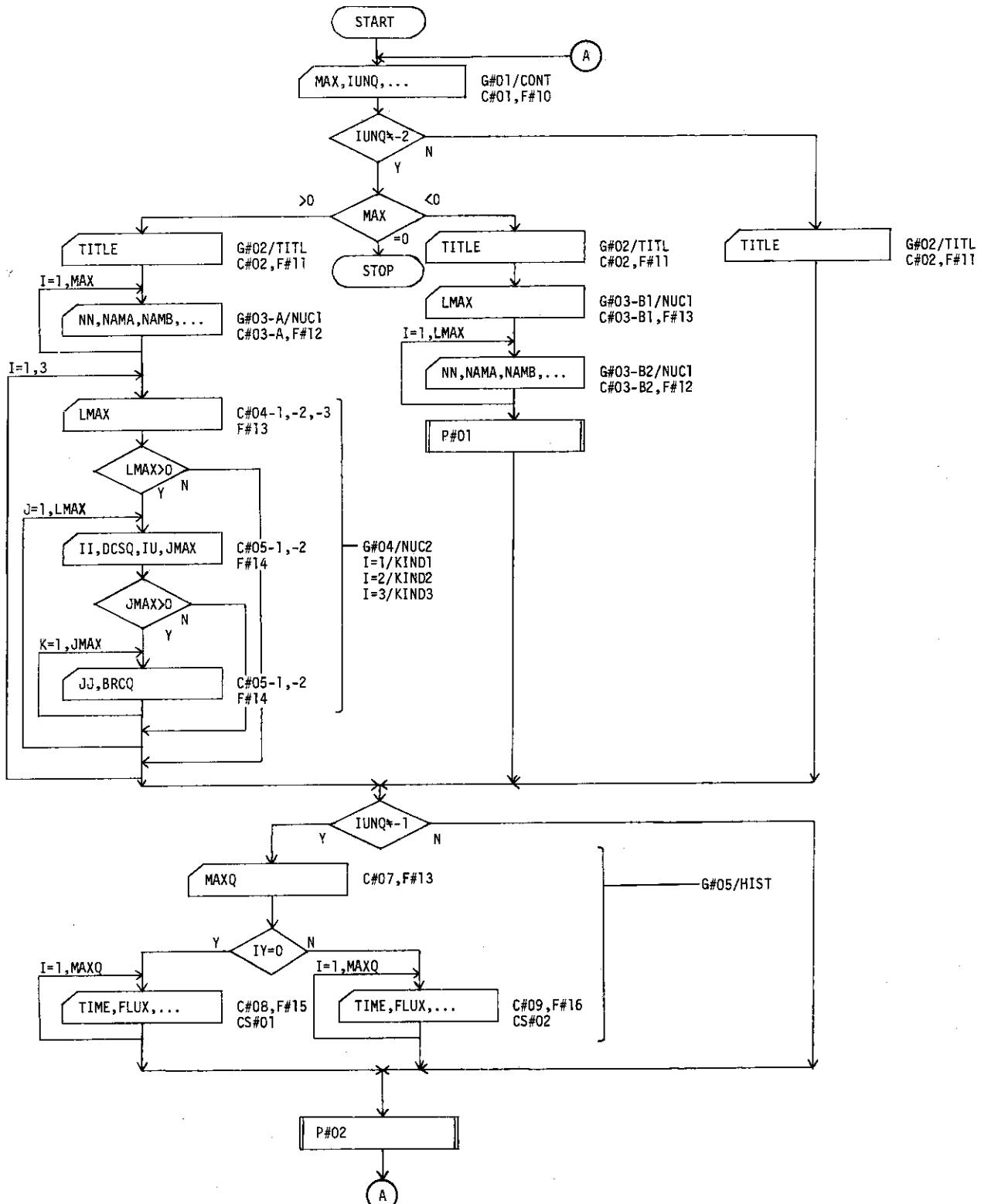
```

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8 1

```


Fig. 2 Flow chart of CODAC-No.4 code for input



P # 1 ライブライアからの核データの選択および入力

P # 2 計算および結果の出力

CS#1 標準型式による照射ヒストリーの入力

CS#2 60進表記による照射ヒストリーの入力

Fig. 3 An example of input data

.....*,...,1.....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7....*....8

0-01	*DATA				
	-001	1 1 1			01
	TEST DATA SET NO.001	FOR INPUT MANUAL OF CODAC-NO.4	JUL.77		02
	001				03
	0001 1.0				04
	2				05
	+0.00000E+00+1.00000E+00				06
	+4.00000E+01+0.00000E+00				07
0-02	-02				08
	TEST DATA SET NO.002	FOR INPUT MANUAL OF CODAC-NO.4	JUL.77		09
	-02				10
	+0.00000E+00+1.00000E+00				11
	+2.00000E+01+0.00000E+00				12
0-03	-03 -01				13
	TEST DATA SET NO.003	FOR INPUT MANUAL OF CODAC-NO.4	JUL.77		14
	001				15
	0001 1.0	1 1 1			16
0-04	5 1 5.0 E+04				17
	TEST DATA ** PRODUCTION OF AU-198				18
	1AU-197 3.05 E+01				19
	2AU-198				20
	3HG-198				21
	4AU-199				22
	5HG-199				23
	2				24
	2 2.7 4 1				25
	3 1.0				26
	4 3.15 4 1				27
	5 1.0				28
	2				29
	1 9.4 E+01 1				30
	2 1.0				31
	2 3.5 E+04 1				32
	4 1.0				33
	2				34
	0.0 E+00 1.0 E+02 2.0 E+03				35
0-05	1.08 E+05	1 1 1			36
	5 MASS = 135 CHAIN 1975.01.01.	BASED ON NEDO-12154			37
	11-135G 1.0				38
	2XE-135M				39
	3XE-135G				40
	4CS-135G				41
	5BA-135G*				42
	4				43
	1 6.7 E+00 3 2				44
	2 0.148				45
	3 0.852				46
	2 1.57 E+01 2 1				47
	3 1.0				48
	3 9.16 E+00 3 1				49
	4 1.0				50
	4 2.3 E+06 5 1				51
	5 1.0				52
	1				53
0-00					54
					55
					56
					57
					58
					59
					60

.....*,...,1.....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7....*....8

PAGE 04 A-06

```
***** *NUCL( 4) IS MAX. AT T= 5.18840E+01      MAX N1 = 6.07428E-10      MAX AC = 1.45895E+22
***** *NUCL(12) IS MAX. AT T= 4.97820E+00      MAX N1 = 1.03473E-20      MAX AC = 2.21283E-24
***** *NUCL( 5) IS MAX. AT T= 7.60420E+00      MAX N1 = 2.46395E-08      MAX AC = 3.34485E-22
```

A-07

```
* LIST OF USED EQUATION
***** U-235G ***** NUCL( 1) = + ( 1.00000E+00) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
***** SN-131G ***** NUCL( 4) = + ( 6.07428E-10) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
- ( 6.07428E-10) X EXP( - ( 3.19914E+01) X TIME )
ACTIVITY( 4) = ( 2.40176E-13) X NUCL( 4)
***** BA-131H ***** NUCL( 12) = + ( 1.03474E-20) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
- ( 1.03474E-20) X EXP( - ( 2.84855E+00) X TIME )
ACTIVITY( 12) = ( 2.13855E-14) X NUCL( 12)
***** SB-131G ***** NUCL( 5) = + ( 2.46399E-08) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
+ ( 6.43818E-10) X EXP( - ( 3.19914E+01) X TIME )
- ( 2.52837E-08) X EXP( - ( 1.80821E+00) X TIME )
ACTIVITY( 5) = ( 1.35752E-14) X NUCL( 5)
***** BA-131G ***** NUCL( 13) = + ( 2.39005E-17) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
+ ( 1.03564E-20) X EXP( - ( 2.84855E+00) X TIME )
- ( 2.39108E-17) X EXP( - ( 2.46847E+03) X TIME )
ACTIVITY( 13) = ( 1.85321E-17) X NUCL( 13)
***** TE-131M ***** NUCL( 6) = + ( 2.77088E-17) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
- ( 2.47629E-12) X EXP( - ( 3.19914E+01) X TIME )
+ ( 1.74155E-09) X EXP( - ( 1.80821E+00) X TIME )
- ( 2.76827E-07) X EXP( - ( 2.91049E-02) X TIME )
ACTIVITY( 6) = ( 1.73460E-16) X NUCL( 6)
***** CS-131G ***** NUCL( 11) = + ( 2.49721E-13) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
+ ( 8.98399E-24) X EXP( - ( 2.84855E+00) X TIME )
- ( 1.15272E-16) X EXP( - ( 2.46847E+03) X TIME )
- ( 2.49606E-13) X EXP( - ( 2.48051E-03) X TIME )
ACTIVITY( 11) = ( 2.23762E-17) X NUCL( 11)
***** TE-131G ***** NUCL( 7) = + ( 3.00575E-08) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
- ( 3.57752E-12) X EXP( - ( 3.19914E+01) X TIME )
+ ( 2.94505E-07) X EXP( - ( 1.80821E+00) X TIME )
- ( 7.06885E-10) X EXP( - ( 2.31049E-02) X TIME )
- ( 2.25820E-07) X EXP( - ( 1.66355E+00) X TIME )
ACTIVITY( 7) = ( 1.24891E-14) X NUCL( 7)
***** I-131G ***** NUCL( 8) = + ( 1.54735E-05) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
+ ( 1.86199E-12) X EXP( - ( 3.19914E+01) X TIME )
- ( 2.71501E-07) X EXP( - ( 1.80821E+00) X TIME )
+ ( 3.30806E-07) X EXP( - ( 2.31049E-02) X TIME )
+ ( 3.24319E-07) X EXP( - ( 1.66355E+00) X TIME )
- ( 1.58573E-05) X EXP( - ( 3.58105E-03) X TIME )
ACTIVITY( 8) = ( 2.68847E-17) X NUCL( 8)
***** XE-131M ***** NUCL( 9) = + ( 1.38019E-07) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
- ( 1.25005E-12) X EXP( - ( 3.19914E+01) X TIME )
+ ( 3.23045E-12) X EXP( - ( 1.80821E+00) X TIME )
- ( 3.43335E-10) X EXP( - ( 2.31049E-02) X TIME )
+ ( 4.19754E-12) X EXP( - ( 1.66355E+00) X TIME )
+ ( 2.92149E-07) X EXP( - ( 3.58105E-03) X TIME )
- ( 4.29824E-07) X EXP( - ( 2.41481E-03) X TIME )
ACTIVITY( 9) = ( 1.81292E-17) X NUCL( 9)
***** XE-131G ***** NUCL( 10) = + ( 2.80113E-02) X EXP( - ( 1.97820E-06) X TIME )
- ( 2.07176E-16) X EXP( - ( 3.19914E+01) X TIME )
+ ( 9.40016E-27) X EXP( - ( 2.84855E+00) X TIME )
+ ( 5.34459E-10) X EXP( - ( 1.80821E+00) X TIME )
+ ( 1.39182E-16) X EXP( - ( 2.46847E+03) X TIME )
+ ( 5.09278E-08) X EXP( - ( 2.31049E-02) X TIME )
+ ( 2.44957E-13) X EXP( - ( 2.80521E-03) X TIME )
- ( 6.15537E-09) X EXP( - ( 1.66355E+00) X TIME )
+ ( 5.53651E-09) X EXP( - ( 3.58105E-03) X TIME )
+ ( 4.29824E-07) X EXP( - ( 2.41481E-03) X TIME )
+ ( 2.79954E-02)
```

***** IN-131G ***** NUCL(3) = 0.0

***** CO-131G ***** NUCL(2) = 0.0

JAERI-M 7230

PAGE 10

TIME	ACTIVITY	RESULTS	ACTIVITY UNIT = (CURIE X NORM.FACTOR)	STEP 2	I
NUCLIDE NO.	11	12	13		
NUCLIDE NAME	MA-133M	BA-133G	L4-133G		
2.10000E+01	0.0	0.0			
2.20000E+01	0.0	0.0			
2.30000E+01	0.0	0.0			
2.40000E+01	0.0	0.0			
2.50000E+01	0.0	0.0			
2.60000E+01	0.0	0.0			
2.70000E+01	0.0	0.0			
2.80000E+01	0.0	0.0			
2.90000E+01	0.0	0.0			
3.00000E+01	0.0	0.0			
3.10000E+01	0.0	0.0			
3.20000E+01	0.0	0.0			
3.30000E+01	0.0	0.0			
3.40000E+01	0.0	0.0			
3.50000E+01	0.0	0.0			
3.60000E+01	0.0	0.0			
3.70000E+01	0.0	0.0			
3.80000E+01	0.0	0.0			
3.90000E+01	0.0	0.0			
4.00000E+01	0.0	0.0			
4.10000E+01	0.0	0.0			
4.20000E+01	0.0	0.0			
4.30000E+01	0.0	0.0			
4.40000E+01	0.0	0.0			
4.50000E+01	0.0	0.0			
4.60000E+01	0.0	0.0			
4.70000E+01	0.0	0.0			
4.80000E+01	0.0	0.0			
4.90000E+01	0.0	0.0			
5.00000E+01	0.0	0.0			
5.10000E+01	0.0	0.0			
5.20000E+01	0.0	0.0			
5.30000E+01	0.0	0.0			
5.40000E+01	0.0	0.0			
5.50000E+01	0.0	0.0			
5.60000E+01	0.0	0.0			
5.70000E+01	0.0	0.0			
5.80000E+01	0.0	0.0			
5.90000E+01	0.0	0.0			
6.00000E+01	0.0	0.0			

4-00 SOLUTION OF COMPLEX DECAY, ACTIVATION AND FISSION CHAIN BY CODAC
TEST DATA ** PRODUCTION OF AU-198 77-06-25
CHAIN LENGTH = 5 TIME UNIT = SEC NORM. FACTOR = 1.00000E+00

4-01 NUCLIDE NAME NUMBER OF ATOMS NUCLIDE NAME NUMBER OF ATOMS NUCLIDE NAME NUMBER OF ATOMS

NUCL(1) IS AU-197 : = 3.05000E+01 NUCL(3) IS HG-198 : = 0.0 NUCL(5) IS HG-199 : = 0.0
NUCL(2) IS AU-198 : = 0.0 NUCL(4) IS AU-199 : = 0.0

4-02 NUCL(2) TO (3) IS DECAY, DECAY CONST = 2.97131E-06 = 2.7000 DAY
NUCL(4) TO (5) IS DECAY, DECAY CONST = 2.54684E-06 = 3.1500 DAY
NUCL(1) TO (2) IS ACTIVATION, CROSS SECTN = 9.40000E+01
NUCL(2) TO (4) IS ACTIVATION, CROSS SECTN = 3.50000E+04
NUCL(1) IS STABLE,
NUCL(3) IS STABLE,
NUCL(5) IS STABLE.

4-03 UNIT OF NEUTRON FLUX = 1.E+12 N/SEC(CM²)
STEP TIME FLUX TIME MESH STEP TIME FLUX TIME MESH STEP TIME FLUX TIME MESH

1 0.0 1.00000E+02 2.000E+03 2 1.08000E+05 0.0 2.000E+03

PAGE 17 5-09

* LIST OF USED EQUATION

```

***** T=135G ***** NUCL( 1) =
    + ( 1.00000E+00) X EXP( - ( 1.03455E-01) X TIME )
ACTIVITY( 1) = ( 7.76686E-16) X NUCL( 1)

***** XE=135M ***** NUCL( 2) =
    + ( 6.01501E-03) X EXP( - ( 1.03455E-01) X TIME )
    + ( 6.01501E-03) X EXP( - ( 2.64897E+00) X TIME )
ACTIVITY( 2) = ( 1.98872E-14) X NUCL( 2)

***** XE=135G ***** NUCL( 3) =
    + ( 3.74597E+00) X EXP( - ( 1.03455E-01) X TIME )
    + ( 6.19189E-03) X EXP( - ( 2.64897E+00) X TIME )
    + ( 3.73978E+00) X EXP( - ( 7.56711E-02) X TIME )
ACTIVITY( 3) = ( 5.68101E-16) X NUCL( 3)

***** CS=135G ***** NUCL( 4) =
    + ( 2.73996E+00) X EXP( - ( 1.03455E-01) X TIME )
    - ( 1.76879E-04) X EXP( - ( 2.64897E+00) X TIME )
    - ( 3.73978E+00) X EXP( - ( 7.56711E-02) X TIME )
    + ( 1.00000E+00) X EXP( - ( 3.43798E-11) X TIME )
ACTIVITY( 4) = ( 2.58107E-25) X NUCL( 4)

***** BA=135G* ***** NUCL( 5) =
    - ( 9.10535E+10) X EXP( - ( 1.03455E-01) X TIME )
    + ( 2.29563E+15) X EXP( - ( 2.64897E+00) X TIME )
    + ( 1.69910E-09) X EXP( - ( 7.56711E-02) X TIME )
    + ( 1.00000E+00) X EXP( - ( 3.43798E-11) X TIME )
    + ( 1.00000E+00)

```

9-00 ***** END OF COAC-ST *****

Fig. 5 Input card deck (1)

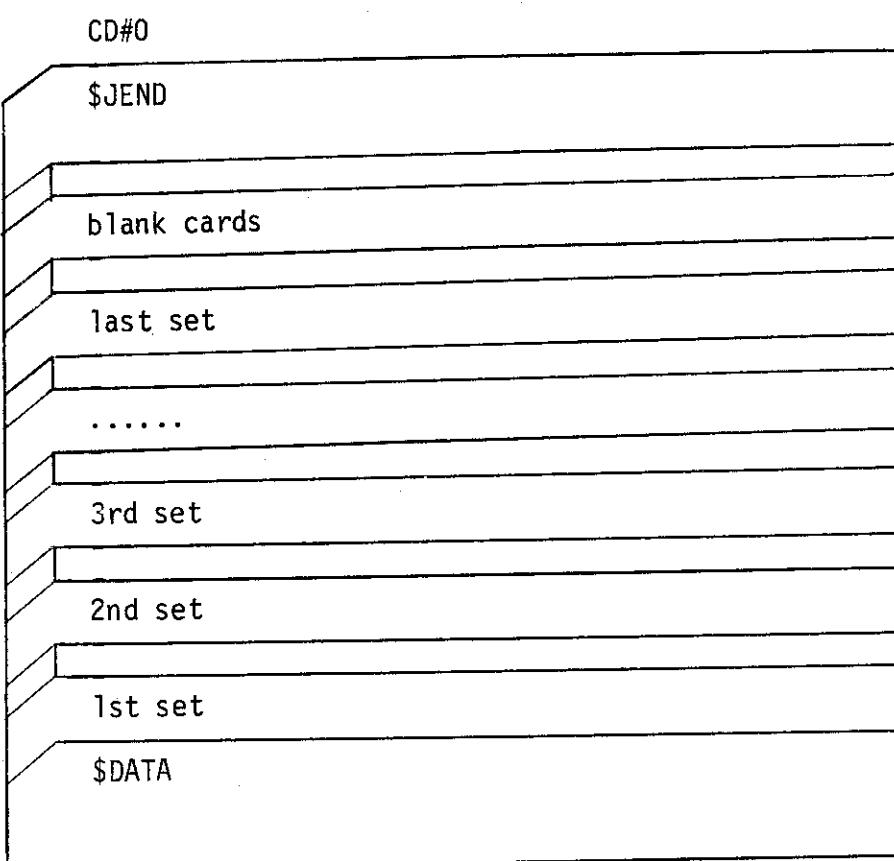


Fig. 6 Input card deck (2)

CD#1-1

blank cards		/END
MAXQ cards		
TIME,FLUX,TDIV	C#08 or 09	
MAXQ	C#07	
blank card	C#04-3	/KIND3/NUC3/NUCL 3rd group
JMAX cards		LMAX subgroups in 2nd group
JJ,BRCQ	C#06-2	
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-2	
LMAX	C#04-2	/KIND2/NUC2/NUCL 2nd group
JMAX cards		LMAX subgroups in 1st group LMAX'th subgroup
JJ,BRCQ	C#06-1	
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1	
.....		
JMAX cards		1st subgroup
JJ,BRCQ	C#06-1	
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1	
LMAX	C#04-1	/KIND1/NUC2/NUCL 1st group
MAX cards		/NUC1/NUCL
NN,NAMA,NAMB,ANOQ	C#03-A	
TITLE	C#02	/TITL
MAX,IUNQ,.....	C#01	/CONT (MAX>0,IUNQ>0)

Fig. 7 Input card deck (3)

CD#1-2(CD#1-1/NUC2/NUCL)	
blank card	C#04-3
JMAX cards	
JJ,BRCQ	C#06-2
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-2
.....	
JMAX cards	
JJ,BRCQ	C#06-2
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-2
LMAX	C#04-2
JMAX cards	
JJ,BRCQ	C#06-1
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1
.....	
JMAX cards	
JJ,BRCQ	C#06-1
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1
JMAX cards	
JJ,BRCQ	C#06-1
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1
LMAX	C#04-1

} /KIND3
3rd group

} LMAX subgroups
in 2nd group
LMAX'th subgroup
(last subgroup)

} 1st subgroup

} /KIND2
2nd group

} LMAX subgroups
in 1st group
LMAX'th subgroup
(last subgroup)

} 2nd subgroup

} 1st subgroup

} /KIND1
1st group

Fig. 8 Input card deck (4)

CD#1-3(CD#1-2/NUC2/NUCL)

CS#1-1 (for group)

JMAX cards		
JJ,BRCQ	C#06-1 or -2	LMAX subgroups in group
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1 or -2	LMAX'th subgroup
.....		
JMAX cards		
JJ,BRCQ	C#06-1 or -2	1st subgroup
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1 or -2	
LMAX	C#04-1 or -2	(LMAX>0)

CS#1-2 (for group)

LMAX	C#04-1,-2 or -3	(LMAX=0)
------	-----------------	----------

CS#2-1 (for subgroup)

JMAX cards		
JJ,BRCQ	C#06-1 or -2	
II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1 or -2	(JMAX>0)

CS#2-2 (for subgroup)

II,DCSQ,IU,JMAX	C#05-1 or -2	(JMAX=0)
-----------------	--------------	----------

Fig. 9 Input card deck (5)

CD#2	
blank cards	/END
MAXQ cards	
TIME,FLUX,TDIV	C#08 or 09
MAXQ	C#07
LMAX cards	/HIST
NN,NAMA,NAMB,ANOQ	C#03-B2
LMAX	C#03-B1
TITLE	C#02
MAX,IUNQ,.....	C#01
	/NUC1
	/TITL
	/CONT (MAX<0,IUNQ>0)

Fig.10 Input card deck (6)

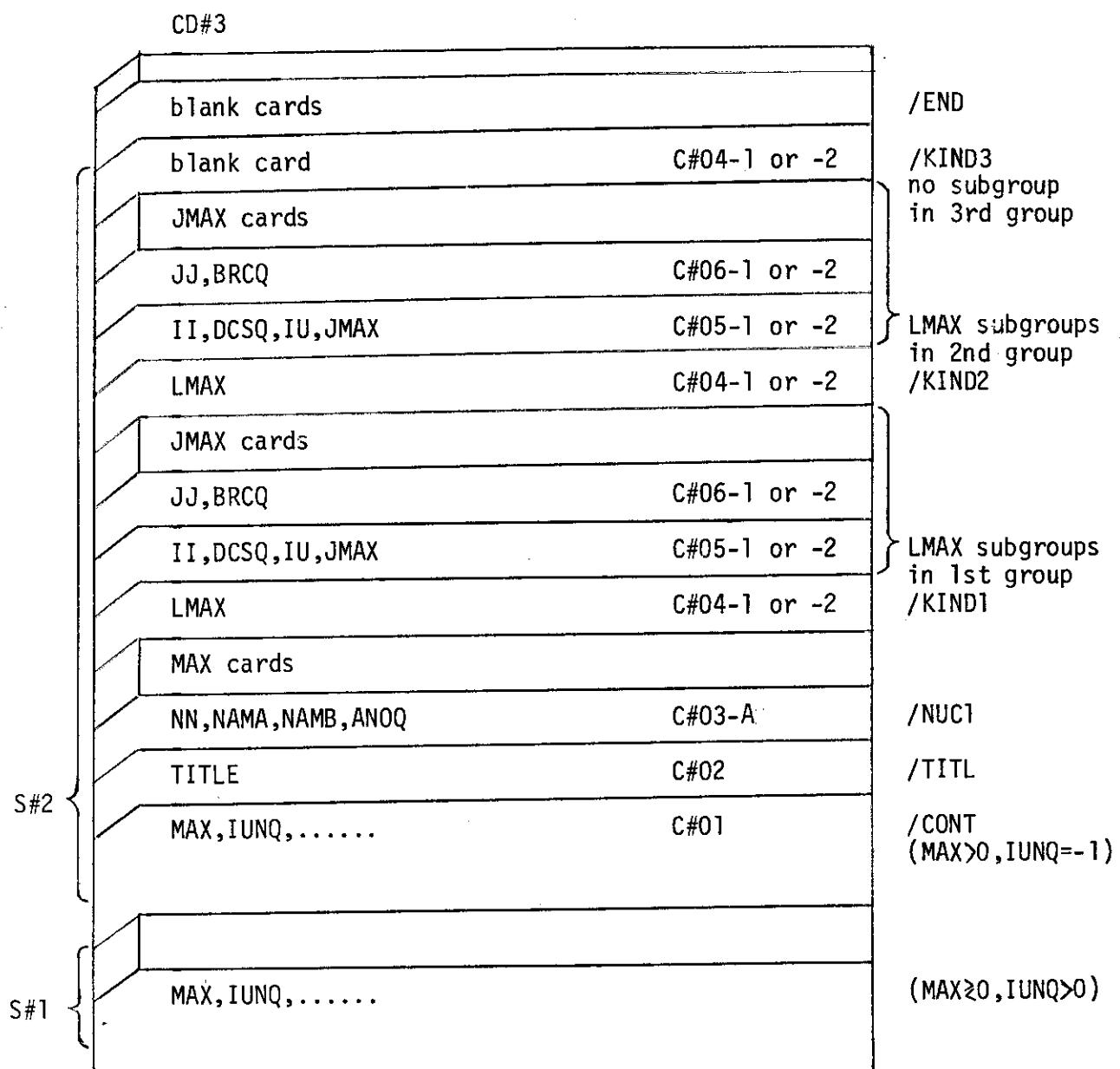


Fig.11 Input card deck (7)

CD#4

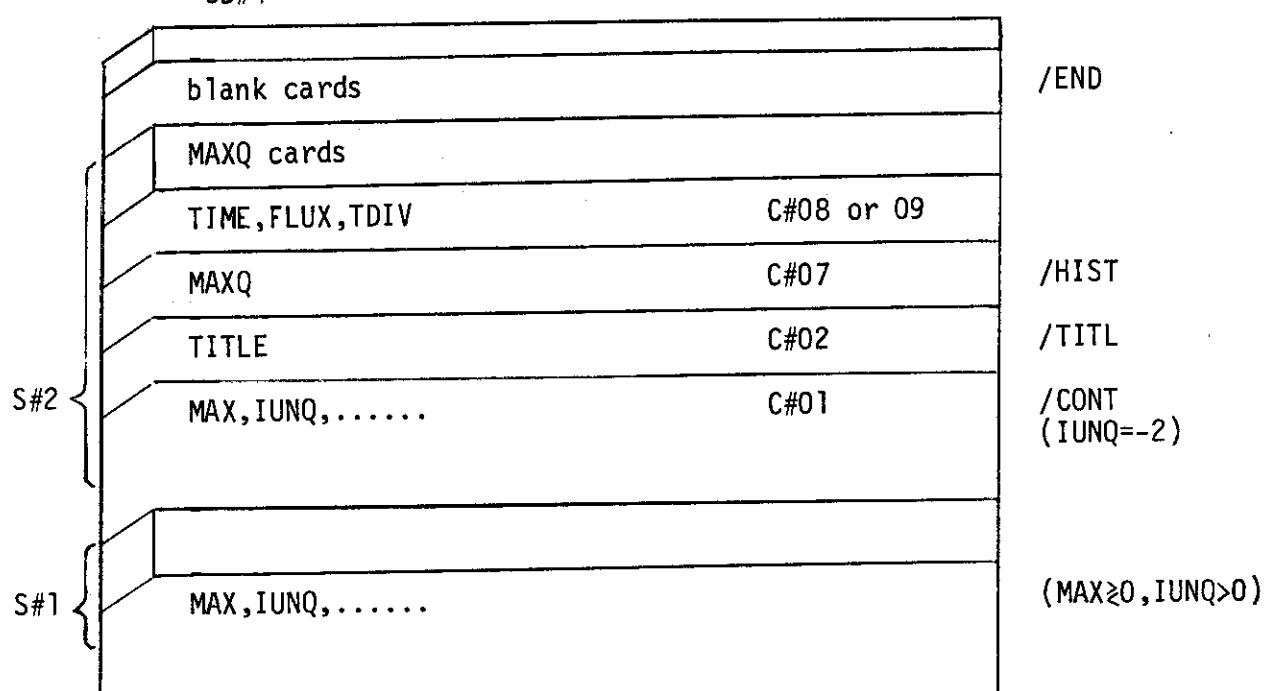


Fig.12 Input card deck (8)

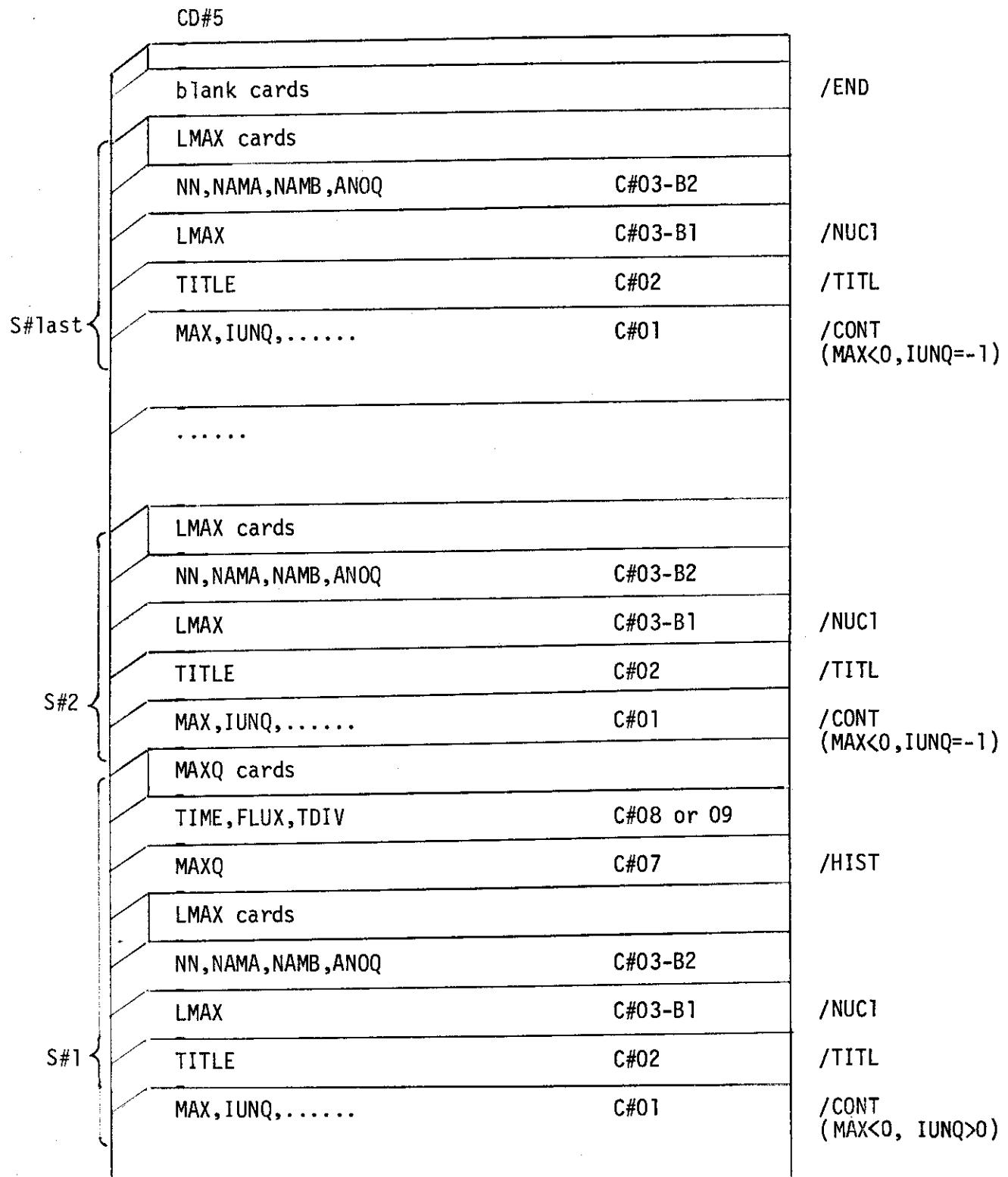


Fig.13 An example of complex chain (1)

DS#01

nuclide = 12
 fuel element = 4
 fission product = 8
 chain = 1

decay →
 fission →
 activation →
 or absorption →

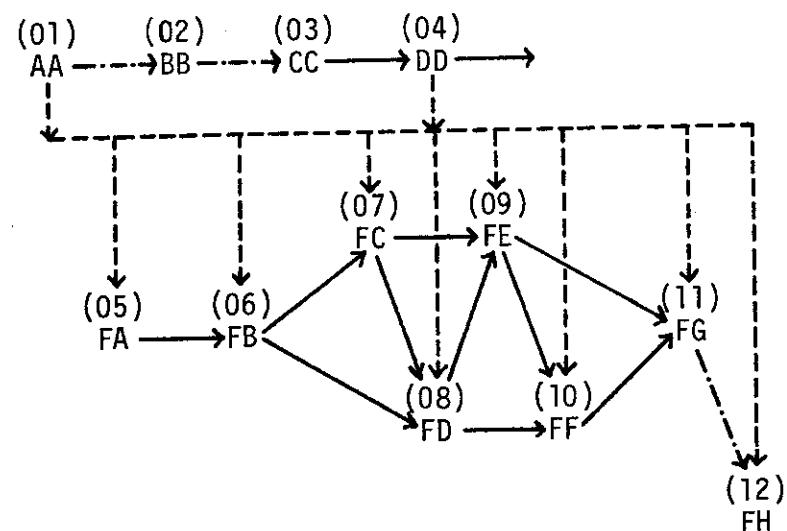


Fig.14 An example of complex chain (2)

DS#02

nuclide = 12
 chain = 2

decay →
 activation →

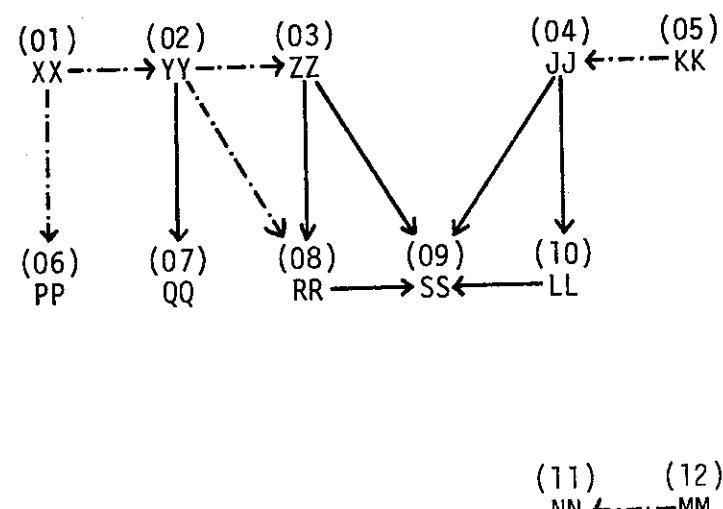


Fig.15 An example of complex chain (3)

DS#03

CS#01

nuclide
chain= 6
= 1

decay

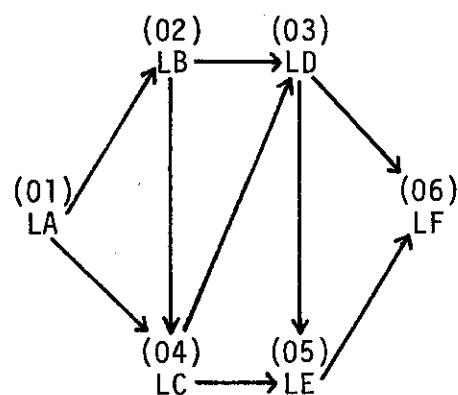


Fig.16 An example of complex chain (4)

CS#02

nuclide
chain= 6
= 1

decay

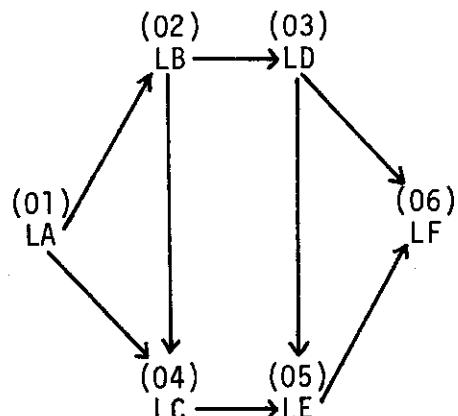


Fig.17 An example of complex chain (5)

CS#03

nuclide

= 12

chain

= 2

decay

→

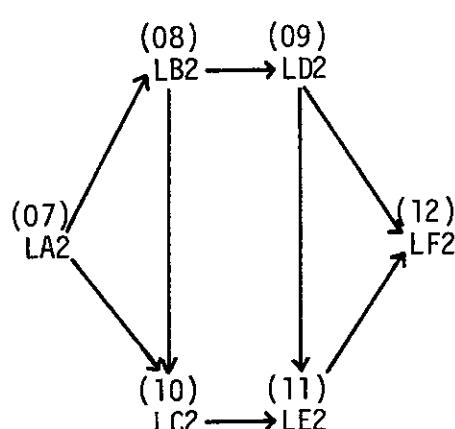
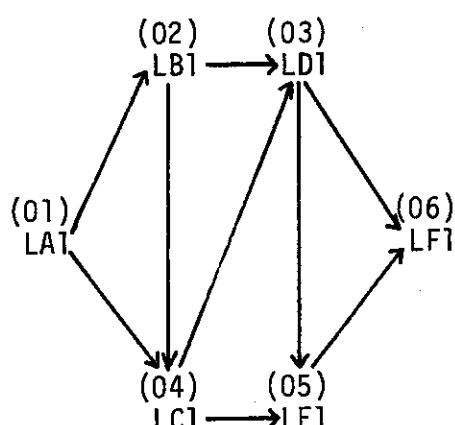


Fig.18 An example of input data for complex chain (1)

IE#01

01	000012000003 TFIN, TNOM,.....	C#01
02	EXAPMLE_OF_INPUT_DATA_FOR_DS#01	C#02
03	0001AA...6.0E+23	C#03-A,(1)
04	0002BB...0.0	C#03
05	0003CC...0.0	C#03
06	0004DD...0.0	C#03
07	0005FA...0.0	C#03
08	0006FB...0.0	C#03
09	0007FC...0.0	C#03
10	0008FD...0.0	C#03
11	0009FE...0.0	C#03
12	0010FF...0.0	C#03
13	0011FG...0.0	C#03
14	0012FH...0.0	C#03
15	000007	1st group, C#04-1
16	03DCSQ, IU01	1st subgroup, C#05-1,(2)
17	04] .0	C#06-1
18	04DCSQ, IU00	2nd subgroup, C#05-1,(3)
19	05DCSQ, IU01	3rd subgroup, C#05-1
20	06] .0	C#06-1
21	06DCSQ, IU02	4th subgroup, C#05-1,(4)
22	07BRCQ	C#06-1,(5)
23	08BRCQ	C#06-1,(6)
24	07DCSQ, IU02	5th subgroup, C#05-1
25	08BRCQ	C#06-1
26	09BRCQ	C#06-1
27	08DCSQ, IU02	6th subgroup, C#05-1
28	09BRCQ	C#06-1
29	10BRCQ	C#06-1
30	09DCSQ, IU02	7th subgroup, C#05-1

31	<u>10BRCQ</u>	C#06-1
32	<u>11BRCQ</u>	C#06-1
33	000005	2nd group, C#04-2
34	<u>01DCSQ_01</u>	1st subgroup, C#05-2,(7)
35	02_1.0	C#06-2
36	<u>02DCSQ_01</u>	2nd subgroup, C#05-2,(8)
37	03_1.0	C#06-2
38	<u>11DCSQ_01</u>	3rd subgroup, C#05-2
39	12_1.0	C#06-2
40	<u>01DCSQ_08</u>	4th subgroup, C#05-2,(9)
41	<u>05BRCQ</u>	C#06-2,(10)
42	<u>06BRCQ</u>	C#06-2,(11)
43	<u>07BRCQ</u>	C#06-2
44	<u>08BRCQ</u>	C#06-2
45	<u>09BRCQ</u>	C#06-2
46	<u>10BRCQ</u>	C#06-2
47	<u>11BRCQ</u>	C#06-2
48	<u>12BRCQ</u>	C#06-2
49	<u>04DCSQ_08</u>	5th subgroup, C#05-2,(12)
50	<u>05BRCQ</u>	C#06-2
51	<u>06BRCQ</u>	C#06-2
52	<u>07BRCQ</u>	C#06-2
53	<u>08BRCQ</u>	C#06-2
54	<u>09BRCQ</u>	C#06-2
55	<u>10BRCQ</u>	C#06-2
56	<u>11BRCQ</u>	C#06-2
57	<u>12BRCQ</u>	C#06-2
58	<u>.....</u>	3rd group, C#04-3
59	000005	C#07
60	<u>0.0_...1.0E+01_...1.0E-01</u>	C#08,(15)
61	<u>1.0_...0.0_.....0.0</u>	C#08,(16)
62	<u>2.0_...2.0E+01_...0.0</u>	C#08,(17)
63	<u>4.0_...0.0_.....0.0</u>	C#08,(18)
64	<u>8.0_...0.0_.....0.0</u>	C#08
65	<u>.....</u>	/END
66	<u>.....</u>	

- (1) 原子数初期値
- (2) 核種 CC の半減期とその単位
- (3) 核種 DD の半減期とその単位
- (4) 核種 FB の半減期とその単位
- (5) 核種 FB から FC への branching ratio
- (6) 核種 FB から FD への branching ratio
- (7) 核種 AA の BB への反応断面積
- (8) 核種 BB の CC への反応断面積
- (9) 核種 AA の fission の断面積
- (10) 核種 AA から FA への fission yield
- (11) 核種 AA から FB への fission yield
- (12) 核種 DD の fission の断面積
- (13) 核種 DD から FA への fission yield
- (14) 核種 DD から FB への fission yield
- (15) $\text{flux} = 1.0 \times 10^{13} \text{ n/sec/cm}^2$
- (16) cooling
- (17) $\text{flux} = 2.0 \times 10^{13} \text{ n/sec/cm}^2$
- (18) cooling

(注) アンダーライン部には、それぞれの具体的な値（数値）を書き入れる。
また、記入する具体的なカラム位置については format を参照すること。

Fig.19 An example of input data for complex chain (2)

```

IE#02
CS#01
01 000012000003TFIN,TNOM,..... C#01
02 EXAMPLE_OF_INPUT_DATA_FOR_DS#02 C#02
03 0001XX_..._6.0E+23 C#03-A
04 0002YY_..._0.0 C#03
05 0003ZZ_..._0.0 C#03
06 0004JJ_..._0.0 C#03
07 0005KK_..._6.0E+23 C#03
08 0006PP_..._0.0 C#03
09 0007QQ_..._0.0 C#03
10 0008RR_..._0.0 C#03
11 0009SS_..._0.0 C#03
12 0010LL_..._0.0 C#03
13 0011MM_..._6.0E+23 C#03
14 0012NN_..._0.0 C#03
15 000005 1st group, C#04-1
16 02DCSQ,IU01 1st subgroup, C#05-1
17 07_1.0 C#06-1
18 03DCSQ,IU02 2nd subgroup, C#05-1
19 08BRCQ C#06-1
20 09BRCQ C#06-1
21 08DCSQ,IU01 3rd subgroup, C#05-1
22 09_1.0 C#06-1
23 04DCSQ,IU02 4th subgroup, C#05-1
24 09BRCQ C#06-1
25 10BRCQ C#06-1
26 10DCSQ,IU01 5th subgroup, C#05-1
27 11_1.0 C#06-1
28 000006 2nd group, C#04-2
29 01DCSQ_01 1st subgroup, C#05-2
30 02_1.0 C#06-2

```

31	<u>01DCSQ_01</u>	2nd subgroup, C#05-2
32	<u>06_1.0</u>	C#06-2
33	<u>02DCSQ_01</u>	3rd subgroup, C#05-2
34	<u>03_1.0</u>	C#06-2
35	<u>02DCSQ_01</u>	4th subgroup, C#05-2
36	<u>08_1.0</u>	C#06-2
37	<u>05DCSQ_01</u>	5th subgroup, C#05-2
38	<u>04_1.0</u>	C#06-2
39	<u>12DCSQ_01</u>	6th subgroup, C#05-2
40	<u>11_1.0</u>	C#06-2
41	<u>...</u>	3rd group, C#04-3
42	<u>000002</u>	C#07
43	<u>0.0_..._1.0E+00_..._1.0E-01</u>	C#08
44	<u>5.0_..._0.0_....._0.0</u>	C#08
45	<u>...</u>	/END
46	<u>....</u>	

CS#02(IY≠0)

42	<u>000002</u>	C#07
43	<u>000D00H00M00_1.0E+00_..._000D06H</u>	C#09
44	<u>100D12H00M00_0.0</u>	C#09
45	<u>...</u>	/END
46	<u>....</u>	

Fig.20 An example of input data for complex chain (3)

```

IE#03
CS#01
01 000006000003TFIN,TNOM,.....          C#01
02 EXAMPLE_OF_INPUT_DATA_FOR_DS#03-1      C#02
03 0001LA_...6.0E+23                      C#03-A
04 0002LB_...0.0                           C#03
05 0003LD_...0.0                           C#03
06 0004LC_...0.0                           C#03
07 0005LE_...0.0                           C#03
08 0006LF_...0.0                           C#03
09 000005                               1st group,   C#04-1
10 01DCSQ,IU02                         1st subgroup, C#05-1
11 02BRCQ                                C#06-1
12 04BRCQ                                C#06-1
13 02DCSQ,IU02                         2nd subgroup, C#05-1
14 03BRCQ                                C#06-1
15 04BRCQ                                C#06-1
16 03DCSQ,IU02                         3rd subgroup, C#05-1
17 05BRCQ                                C#06-1
18 06BRCQ                                C#06-1
19 04DCSQ,IU02                         4th subgroup, C#05-1,*
20 03BRCQ                                C#06-1,*
21 05BRCQ                                C#06-1,*
22 05DCSQ,IU01                         5th subgroup, C#05-1
23 06BRCQ                                C#06-1
24 .....                                 C#04-2
25 .....                                 C#04-3
26 000001                                 C#07
27 _0.0_..._0.0_..._0.0                     C#08
28 .....                                 /END
29 .....

```

Fig.21 An example of input data for complex chain (4)

IE#03
CS#02
01 000006000003TFIN, TNOM,..... C#01
02 EXAMPLE_OF_INPUT_DATA_FOR_DS#03-2 C#02
...
...
09 000005 1st group, C#04-1
...
...
19 04DCSQ, IU01 4th subgroup, C#05-1,*
20 05BRCQ C#06-1,*
21 05DCSQ, IU01 5th subgroup, C#05-1
22 06_1.0 C#06-1
23 C#04-2
24 C#04-3
25 000001 C#07
26 0.0.....0.0.....1.0 C#08
27 /END
28

Fig.22 An example of input data for complex chain (5)

```

IE#03
CS#03
01 000012000003TFIN,TNOM,..... C#01
02 EXAMPLE_OF_INPUT_DATA_FOR_DS#03-3 C#02
03 0001LA1....6.0E+23 C#03-A
04 0002LB1....0.0 C#03
05 0003LD1....0.0 C#03
06 0004LC1....0.0 C#03
07 0005LE1....0.0 C#03
08 0006LF1....0.0 C#03
09 0007LA2....6.0E+23 C#03
10 0008LB2....0.0 C#03
11 0009LD2....0.0 C#03
12 0010LC2....0.0 C#03
13 0011LE2....0.0 C#03
14 0012LF2....0.0 C#03
15 000010 1st group, C#04-1
16 01DCSQ,IU02 1st subgroup, C#05-1
17 02BRCQ C#06-1
18 04BRCQ C#06-1
19 02DCSQ,IU02 2nd subgroup, C#05-1
20 03BRCQ C#06-1
21 04BRCQ C#06-1
22 03DCSQ,IU02 3rd subgroup, C#05-1
23 05BRCQ C#06-1
24 06BRCQ C#06-1
25 04DCSQ,IU02 4th subgroup, C#05-1,* C#06-1,*
26 03BRCQ C#06-1,*
27 05BRCQ C#06-1,*
28 05DCSQ,IU01 5th subgroup, C#05-1
29 06_1.0 C#06-1
30 07DCSQ,IU02 6th subgroup, C#05-1

```

31	08 <u>BRCQ</u>	C#06-1
32	10 <u>BRCQ</u>	C#06-1
33	08 <u>DCSQ</u> , <u>IU02</u>	7th subgroup, C#05-1
34	09 <u>BRCQ</u>	C#06-1
35	10 <u>BRCQ</u>	C#06-1
36	09 <u>DCSQ</u> , <u>IU02</u>	8th subgroup, C#05-1
37	11 <u>BRCQ</u>	C#06-1
38	12 <u>BRCQ</u>	C#06-1
39	10 <u>DCSQ</u> , <u>IU01</u>	9th subgroup, C#05-1,*
40	11 <u>BRCQ</u>	C#06-1,*
41	11 <u>DCSQ</u> , <u>IU01</u>	10th subgroup, C#05-1
42	12 <u>1.0</u>	C#06-1
43	<u>...</u>	C#04-2
44	<u>...</u>	C#04-3
45	000001	C#07
46	<u>0.0</u> ... <u>0.0</u> ... <u>1.0</u>	C#08
47	<u>...</u>	/END
48	<u>...</u>	

Fig.23 An example of nuclear data library prepared
for complex chain (1)

```

A#01 ( preparation of nuclear data library )

-----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7---

01      DATA MAK(k) /j/

101     DATA (NAMZ(I,1,k),NAMZ(I,2,k),I=1,m) /
102     * 4HAA...,4H..., 4HBB...,4H..., ..... .... IE#01,L#03,04,.....
...
199     * ..... ...., 4HFG...,4H..., 4HFH...,4H... / IE#01,L#13,14

201     DATA (LLB(I,1,k),DLB(I,k),LLB(I,2,k),LLB(I,3,k),I=1,n) /
202     * 07, 0.0      ,00,00,                                IE#01,L#15
203     * 03, DCSQ      ,IU,01,                                IE#01,L#16
204     * 04, 1.0      ,00,00,                                IE#01,L#17
205     * 04, DCSQ      ,IU,00,                                IE#01,L#18
...
...
297     * 12, BRCQ      ,00,00,                                IE#01,L#57
298     * 00, 0.0      ,00,00,                                IE#01,L#58
299     * 00, 0.0      ,00,00 /
```

Fig.24 An example of complex chain (6)

DS#04 (fission product transport)

fuel element = 1
 fission product = 3x2
 region = 2
 chain = 1
 decay →
 fission →
 transport →

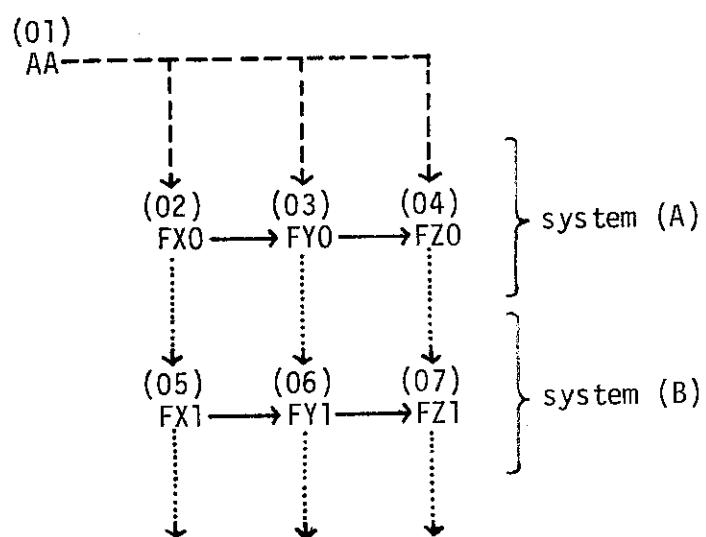


Fig.25 An example of complex chain (7)

DS#05 (fission product release)

fuel element = 1
 fission product = 3x2
 region = 2
 chain = 1
 decay →
 fission →
 release →

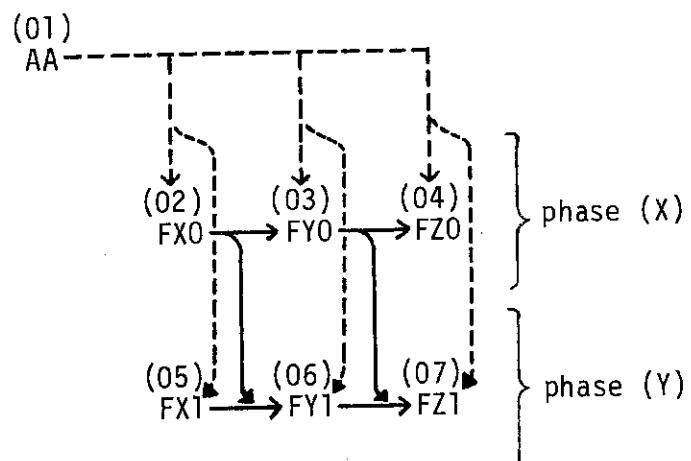


Fig.26 An example of input data for complex chain (6)

IE#04 (fission product transport)

01	000007000003	<u>TFIN,TNOM,.....</u>	C#01
02	EXAMPLE_OF_INPUT_DATA_FOR_DS#04		C#02
03	0001AA...3.0E+23		C#03-A
04	0002FX0...0.0		C#03
05	0003FY0...0.0		C#03
06	0004FZ0...0.0		C#03
07	0005FX1...0.0		C#03
08	0006FY1...0.0		C#03
09	0007FZ1...0.0		C#03
10	000004		C#04-1
11	02DCSQ,IU01		C#05-1
12	03_1.0		C#06-1
13	03DCSQ,IU01		C#05-1
14	04_1.0		C#06-1
15	05DCSQ,IU01		C#05-1
16	06_1.0		C#06-1
17	06DCSQ,IU 01		C#05-1
18	07_1.0		C#05-1
19	000001		C#04-2
20	01DCSQ_03		C#05-2
21	02BRCQ		C#06-2
22	03BRCQ		C#06-2
23	04BRCQ		C#06-2
24	000006		C#04-3
25	02DCSQ,IU01		C#05-3
26	05_1.0		C#06-3
27	03DCSQ,IU01		C#05-3
28	06_1.0		C#06-3
29	04DCSQ,IU01		C#05-3
30	07_1.0		C#06-1

31	05DCSQ, <u>IU00</u>	C#05-3
32	06DCSQ, <u>IU00</u>	C#05-3
33	07DCSQ, <u>IU00</u>	C#05-3
34	000004	C#07
35	1.0...1.0...1.0	C#08
36	10.0...0.0...0.0	C#08
37	50.0...3.0...0.0	C#08
38	75.0...0.0...0.0	C#08
39	/END
40	

Fig.27 An example of FORTRAN statements prepared for complex chain (6)

```

-----*---1---*---2---*---3---*---4---*---5---*---6---*---7---

      SUBROUTINE BRENDA
01      DCX(2,3)=f1(x,y,.....)
02      DCX(3,3)=f2(x,y,.....)
03      DCX(4,3)=f3(x,y,.....)
04      DCX(5,3)=f4(x,y,.....)
05      DCX(6,3)=f5(x,y,.....)
06      DCX(7,3)=f6(x,y,.....)

101     FUNCTION f1(x,y,.....)
...
197     f1=.....
198     RETURN
199     END

...
...
...
601     FUNCTION f6(x,y,.....)
...
697     f6=.....
698     RETURN
699     END

```

Fig.28 An example of input data for complex chain (7)

IE#05 (fission product release)

```

01 000007000003TFIN,TNOM,..... C#01
02 EXAMPLE_OF_INPUT_DATA_FOR_DS#05 C#02
03 0001AA.....6.0E+23 C#03-A
04 0002FX0....0.0 C#03
05 0003FY0....0.0 C#03
06 0004FZ0....0.0 C#03
07 0005FX1....0.0 C#03
08 0006FY1....0.0 C#03
09 0007FZ1....0.0 C#03
10 000004 C#04-1
11 02DCSQ,IU01 C#05-1
12 031.0 C#06-1
13 03DCSQ,IU01 C#05-1
14 041.0 C#06-1
15 05DCSQ,IU01 C#05-1
16 061.0 C#06-1
17 06DCSQ,IU01 C#05-1
18 071.0 C#06-1
19 000001 C#04-2
20 01DCSQ,IU03 C#05-1
21 02BRCQ C#06-2
22 03BRCQ C#06-2
23 04BRCQ C#06-2
24        C#04-3
25 000010 C#07
26 0.0E+00....1.0E+01....1.0 C#08
27 2.4E+01....0.0 C#08
28 4.8E+01....1.0E+01 C#08
29 7.2E+01....0.0 C#08
30 9.6E+01....1.0E+01 C#08
31 1.2E+02....0.0 C#08
32 2.4E+02....3.0E+01 C#08
33 3.6E+02....0.0 C#08
34 4.8E+02....6.0E+01 C#08
35 6.0E+02....0.0 C#08
36        /END
37       

```

Fig. 29 An example of FORTRAN statements prepared for complex chain (7)

-----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--

```

        SUBROUTINE BRENDA
01      X1A=f(a,b,.....)
02      X2A=f(a,b,.....)
03      X3A=f(a,b,.....)
04      X4A=f(a,b,.....)
05      X5A=f(a,b,.....)
06      X6A=f(a,b,.....)
07      X1B=1.0-X1A
08      X2B=1.0-X2A
09      X3B=1.0-X3A
10      X4B=1.0-X4A
11      X5B=1.0-X5A
12      X6B=1.0-X6A
13      XX=EBRC(2,1)
14      EBRC(2,1)=XX*X1A
15      EBRC(5,1)=XX*X1B
16      D(1,5)=2.0
17      XX=EBRC(3,1)
18      EBRC(3,1)=XX*X2A
19      EBRC(6,1)=XX*X2B
20      D(1,6)=2.0
21      XX=EBRC(4,1)
22      EBRC(4,1)=XX*X3A
23      EBRC(7,1)=XX*X3B
24      D(1,7)=2.0
25      XX=EBRC(3,2)
26      EBRC(3,2)=XX*X4A
27      EBRC(6,2)=XX*X4B
28      D(2,6)=1.0
29      XX=EBRC(4,3)
30      EBRC(4,3)=XX*X5A
31      EBRC(7,3)=XX*X5B
32      D(3,7)=1.0

```

----*----1----*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----*----7--

101 FUNCTION f(a,b,.....)
102
103
104
197 f=.....
198 RETURN
199 END